

## II. 調查結果

---



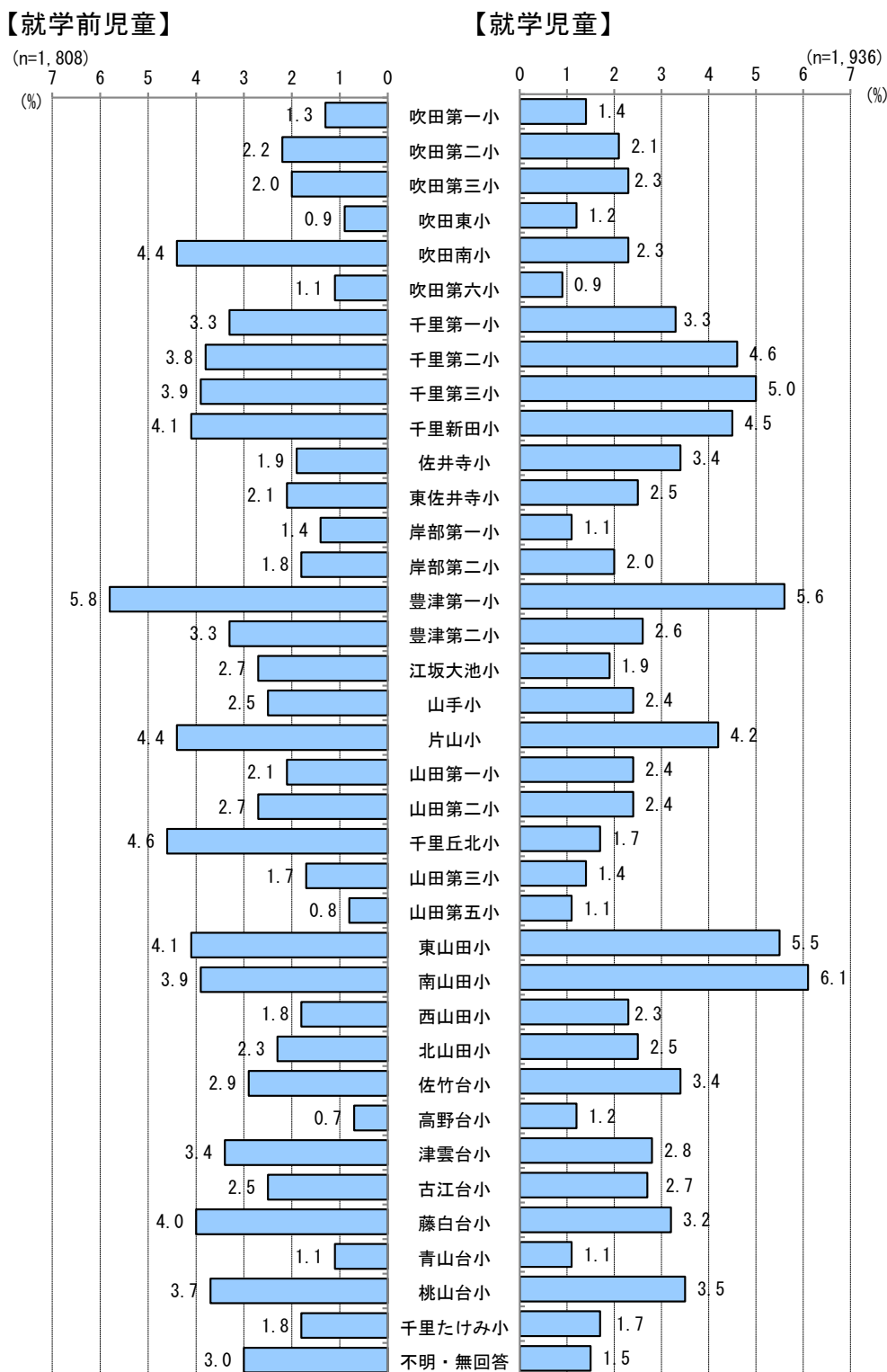
## II. 調査結果

### 1 家庭の状況

#### (1) 居住地（小学校区）

[就学前児童・就学児童…問1]

【図 1-1 居住地】



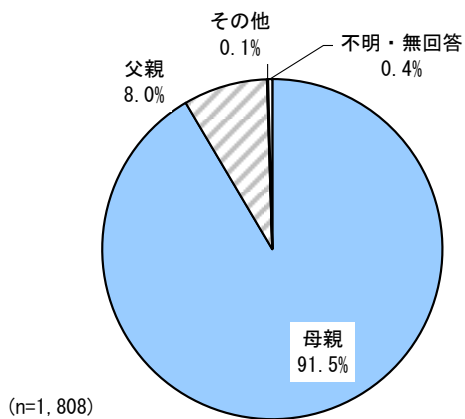
## II. 調査結果

### (2) 回答者と子どもの続柄

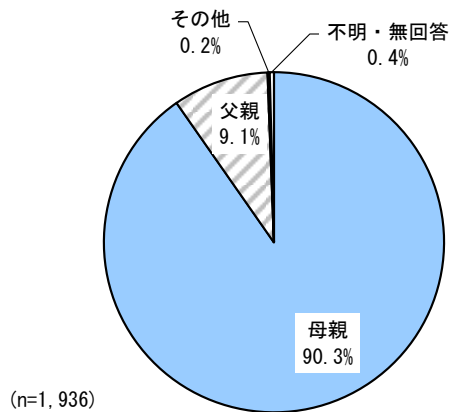
[就学前児童・就学児童…問2]

【図 1-2 回答者】

#### 【就学前児童】



#### 【就学児童】

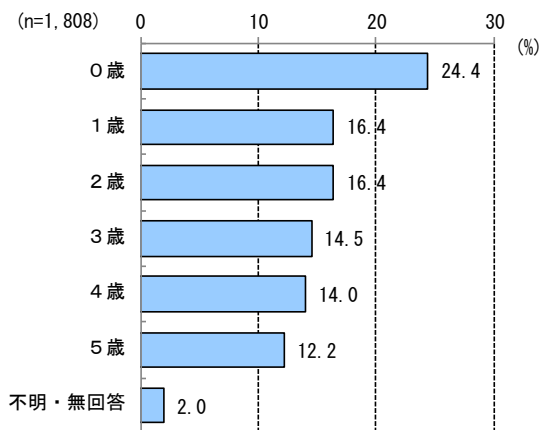


### (3) 子どもの年齢・学年

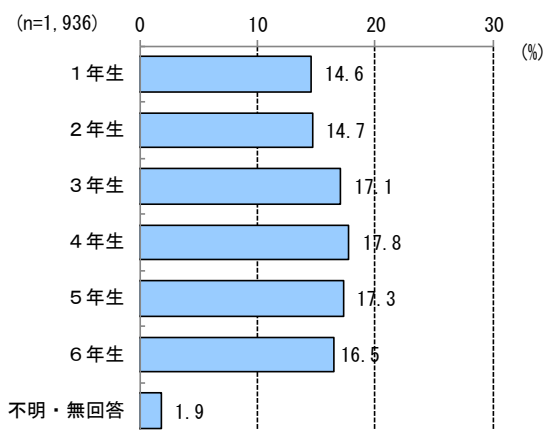
[就学前児童・就学児童…問3]

【図 1-3 年齢・学年】

#### 【就学前児童】



#### 【就学児童】

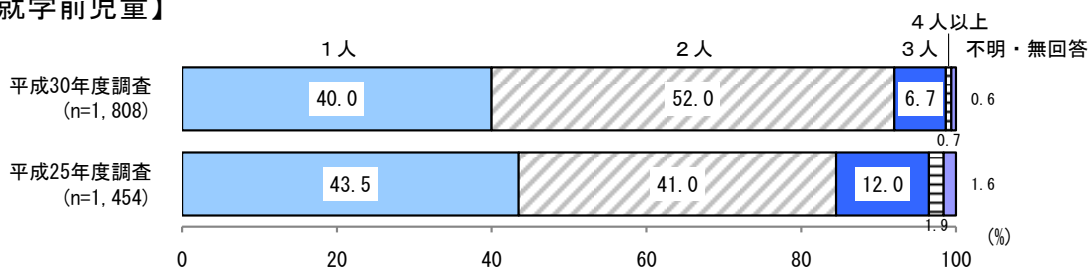


(4) 子どもの人数、末子の年齢、希望する子どもの人数

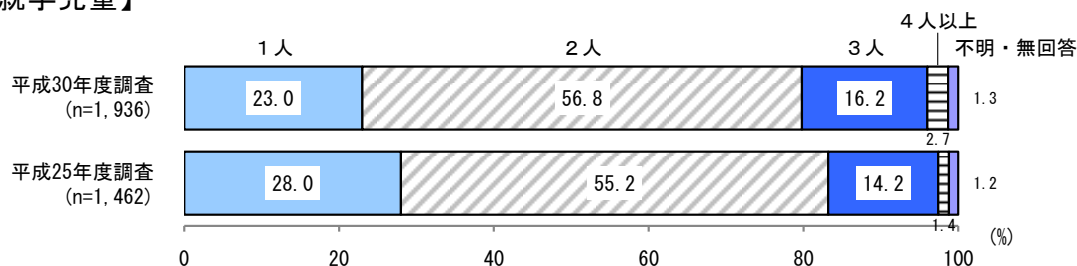
[就学前児童…問4・5・6・6-1、就学児童…問4]

【図1-4 子どもの人数】

【就学前児童】



【就学児童】

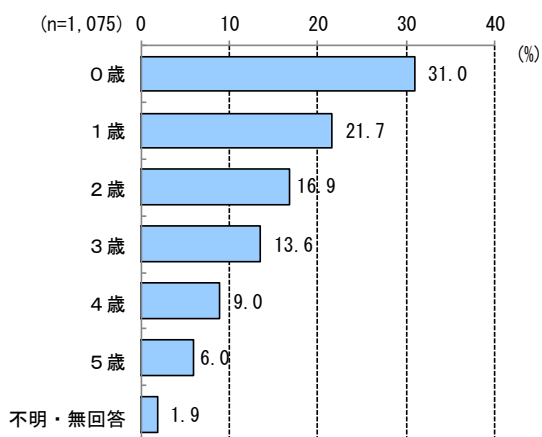


子どもの人数について、就学前児童、就学児童とも「2人」の割合が最も多い（就学前児童：52.0%、就学児童：56.8%）。次いで「1人」（就学前児童：40.0%、就学児童：23.0%）が続き、「3人」は就学前児童が6.7%、就学児童が16.2%となっている。

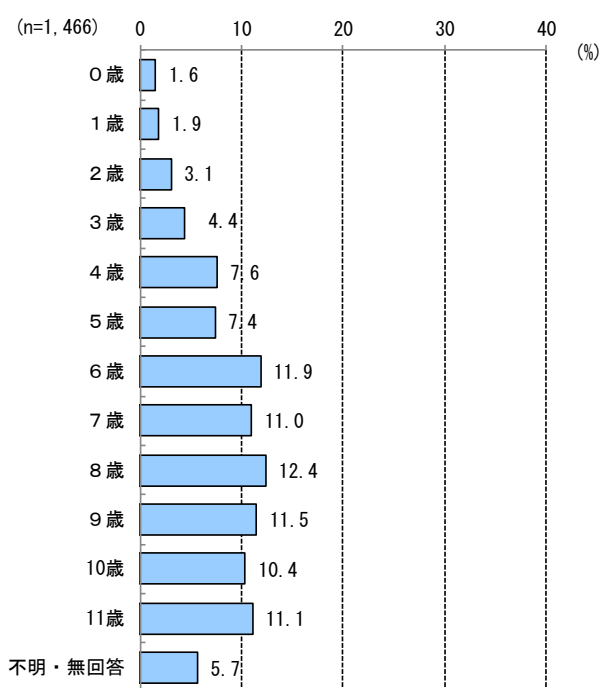
平成25年度調査と比べると、就学前児童、就学児童とも、「1人」の割合が低くなっており、就学前児童は3.5ポイント、就学児童では5.0ポイント低くなっている。

【図1-4-1 末子の年齢】

【就学前児童】



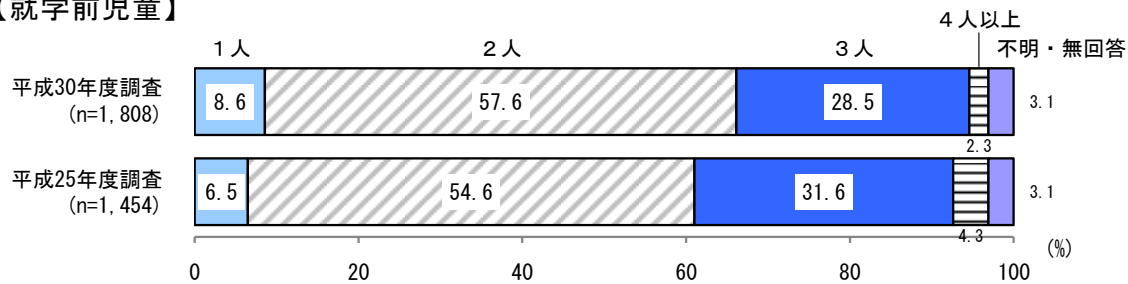
【就学児童】



## II. 調査結果

【図 1-4-2 希望する子どもの人数】

### 【就学前児童】

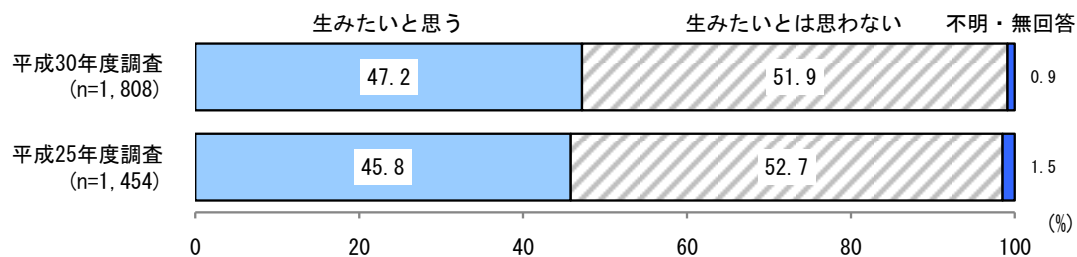


就学前児童保護者の希望する子どもの人数について、「2人」(57.6%)が最も多く、次いで「3人」(28.5%)、「1人」(8.6%)が続く。

平成25年度調査と比べると、「2人」の割合が3.0ポイント、「1人」の割合が2.1ポイント高く、「3人」の割合は3.1ポイント低くなっている。

【図 1-4-3 もう1人以上の子どものを生またいか】

### 【就学前児童】

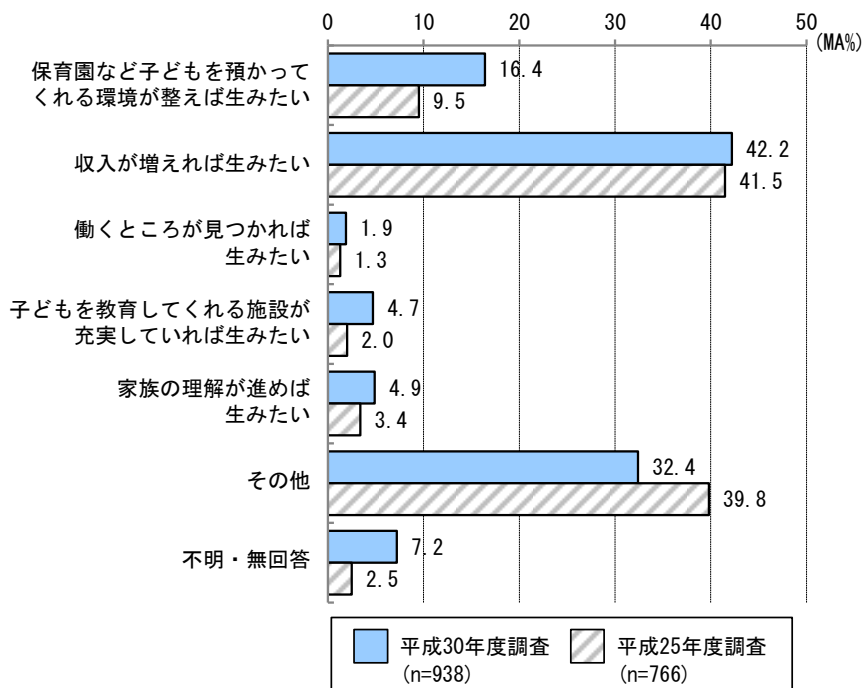


就学前児童保護者のもう1人以上の子どものを生またいかの希望について、「生みたいと思う」が47.2%、「生みたいとは思わない」が51.9%となっている。

平成25年度調査と比べると、「生みたいと思う」の割合が1.4ポイント高くなっている。

【図 1-4-4 生みたいと思わない人がもう 1 人以上の子どもを生みたいと思う環境】

【就学前児童】



子どもを生みたいと思わない人に、どのような環境が整えばもう 1 人以上の子どもを生みたいと思うかたずねると、「収入が増えれば生みたい」(42.2%) が最も多く、次いで「保育園など子どもを預かってくれる環境が整えば生みたい」(16.4%) が続く。

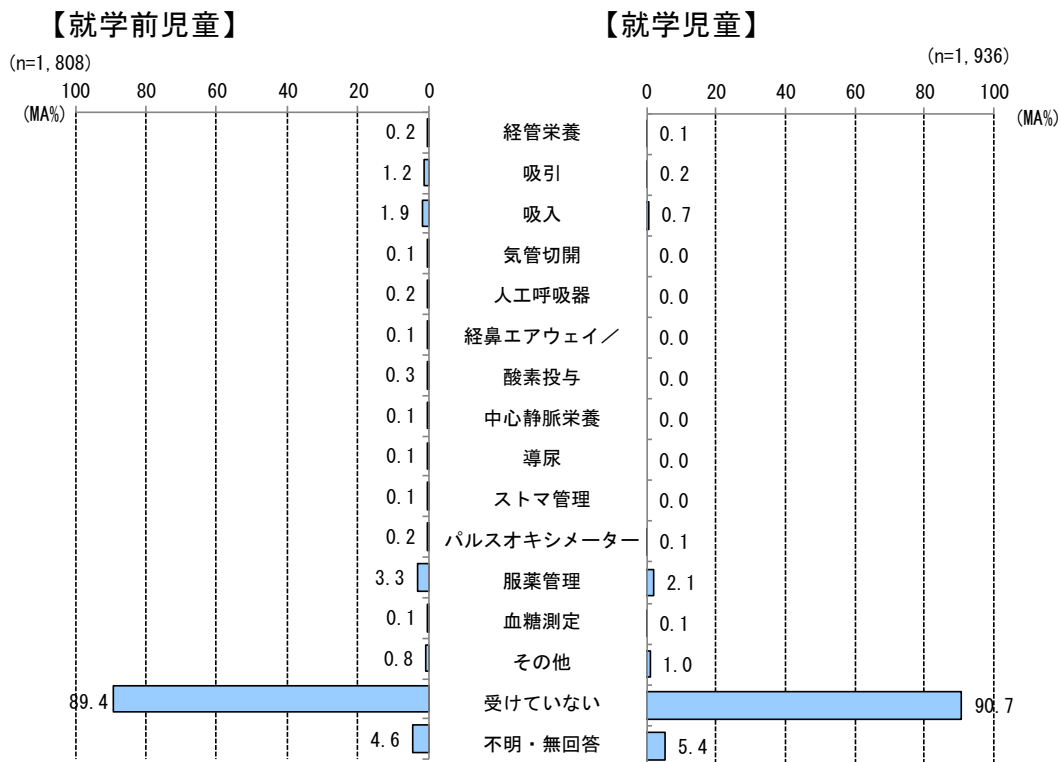
平成 25 年度調査と比べると、傾向は変わらないが、「保育園など子どもを預かってくれる環境が整えば生みたい」の割合が 6.9 ポイント高くなっている。

II. 調査結果

(5) 医療的ケアを受けているか

[就学前児童…問7、就学児童…問5]

【図1-5 受けている医療的ケア】



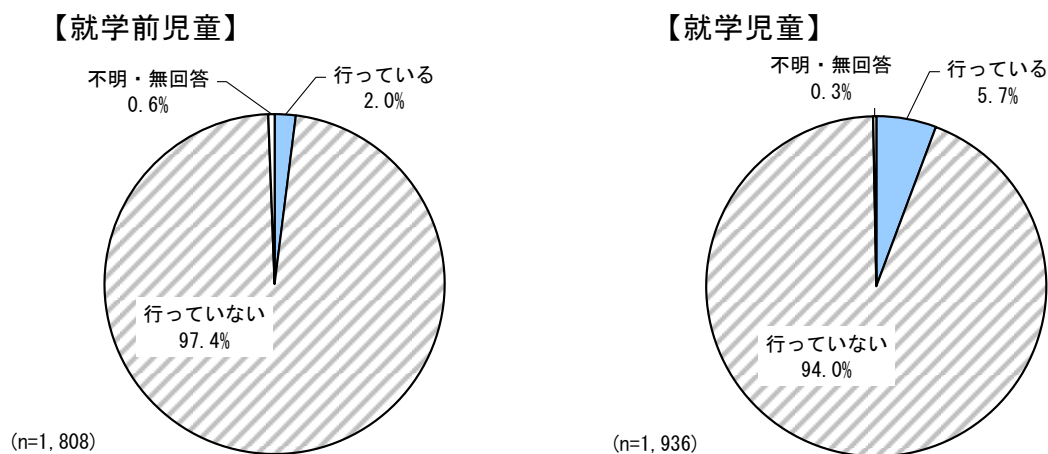
(複数回答)

医療的ケアを受けているかについて、「受けていない」(就学前児童：89.4%、就学児童：90.7%)が最も多い。

(6) 高齢者や障がいのある人の介護を日常的に行っているか

[就学前児童…問8、就学児童…問6]

【図1-6 要介護者の有無】



高齢者や障がいのある人の日常的な介護の有無は、「行っている」が就学前児童2.0%、就学児童5.7%となっている。

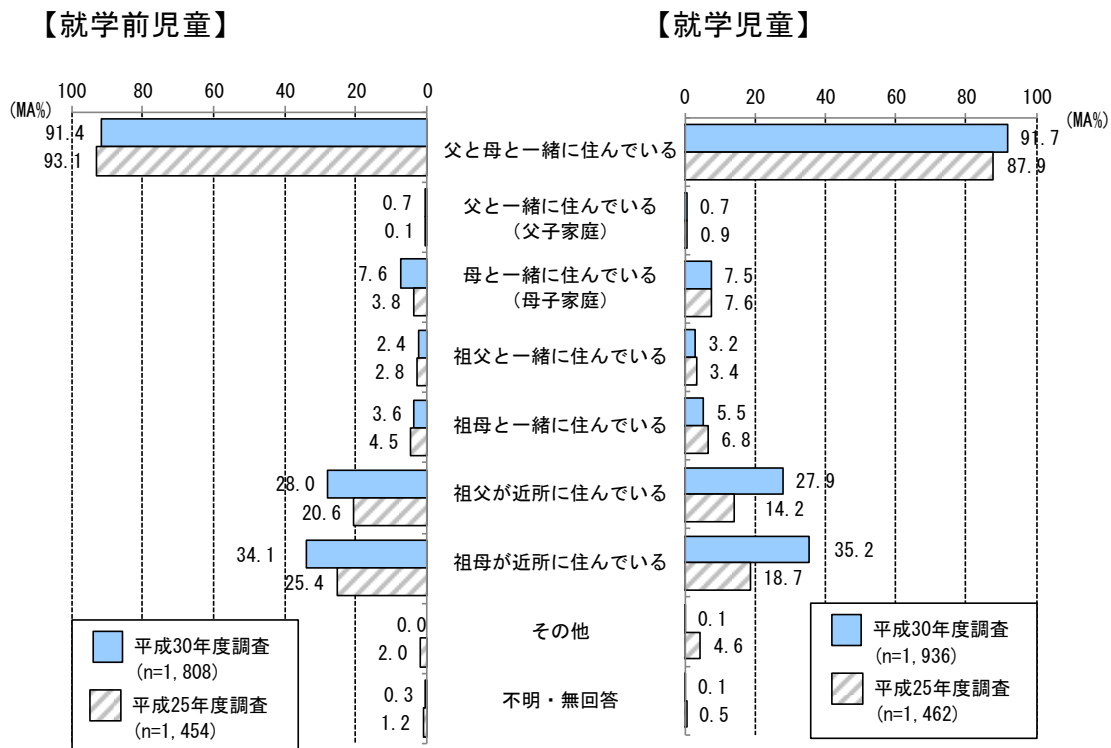


(7) 一緒に住んでいる人、近所に住んでいる人

【就学前児童…問9、就学児童…問7】

問 お子さんとの同居・近居の状況についておうかがいします。(すべてに○)

【図 1-7 同居・近居の状況】



(複数回答)

同居の状況については、「父と母と一緒に住んでいる」(就学前児童91.4%、就学児童91.7%)が最も多い。

平成25年度調査と比べると、就学前児童は「父と一緒に住んでいる (父子家庭)」「母と一緒に住んでいる (母子家庭)」の割合がやや上昇している。

近居の状況について、平成25年度調査と比べると、就学前児童・就学児童とも「祖父が近所に住んでいる」「祖母が近所に住んでいる」の各割合が上昇している。

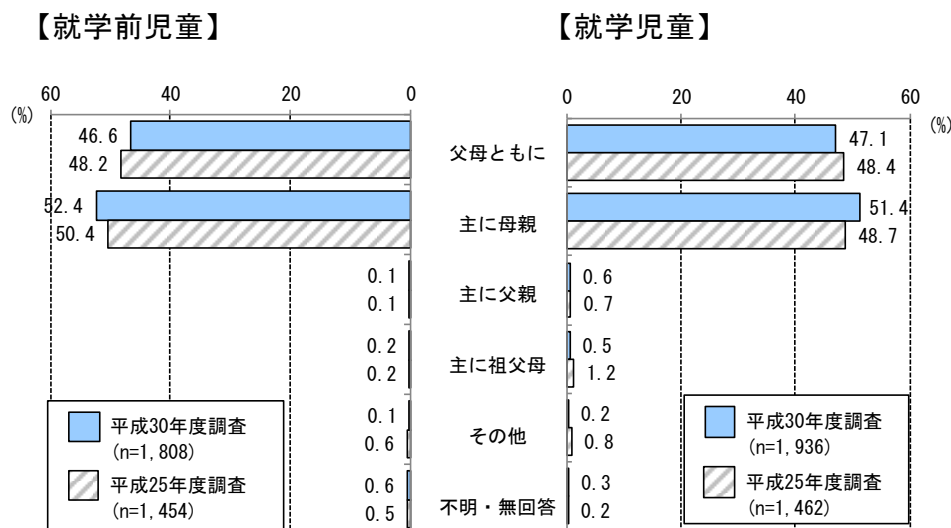
## 2 子育てに関わっている人や施設

### (1) 子育てや教育を主に行っている人

[就学前児童…問10、就学児童…問8]

問 お子さんの子育てや教育を主に行っている方はどなたですか。選択肢はお子さんからみた関係です。(1つに〇)

【図 2-1 子育てや教育を主に行っている人】



子育てや教育を主に行っている人について、「主に母親」(就学前児童：52.4%、就学児童：51.4%)が最も多い。次いで「父母ともに」(就学前児童：46.6%、就学児童：47.1%)が続く。

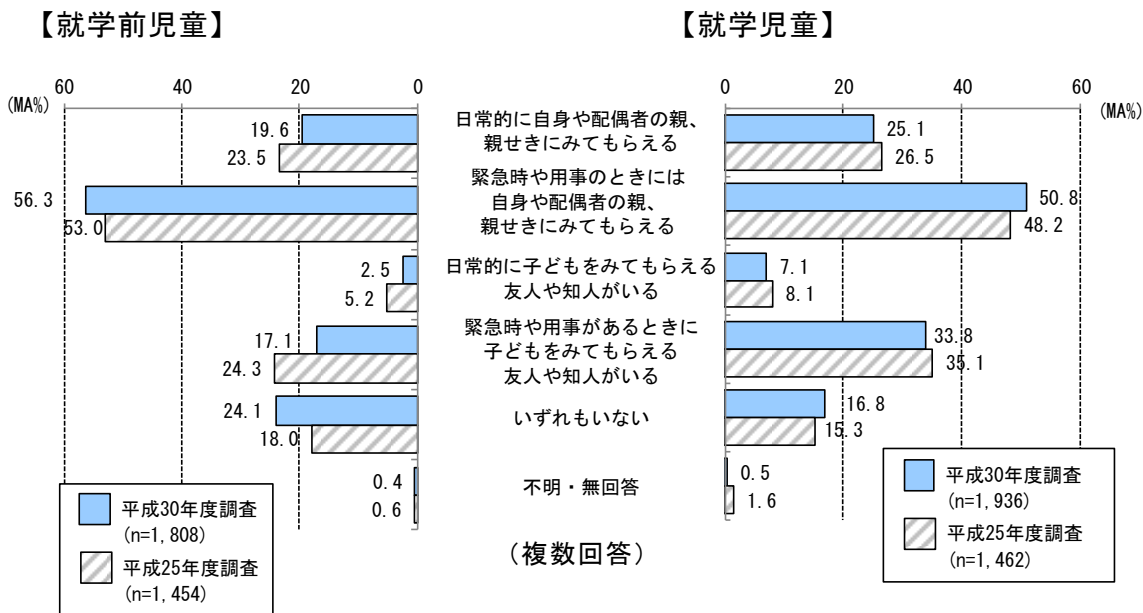
平成25年度調査と比べると、傾向は変わらないが、「主に母親」の割合が、就学前児童は2.0ポイント、就学児童は2.7ポイント高くなっている。

(2) 子どもの面倒をみてもらえる人

[就学前児童…問11、就学児童…問9]

問 日頃、お子さんの面倒をみてもらえる人はいますか。(すべてに○)

【図 2-2 子どもの面倒をみてもらえる人の有無】



子どもの面倒をみてもらえる人の有無について、「緊急時や用事の際には自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる」（就学前児童：56.3%、就学児童：50.8%）の割合が最も多くなっている。次いで就学前児童は「日常的に自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる」（19.6%）、就学児童は「緊急時や用事があるときに子どもをみてもらえる友人や知人がいる」（33.8%）が続く。「いずれもない」は就学前児童が24.1%、就学児童が16.8%となっている。

平成25年度調査と比べると、就学前児童は「いずれもない」の割合が6.1ポイント高くなっている。

II. 調査結果

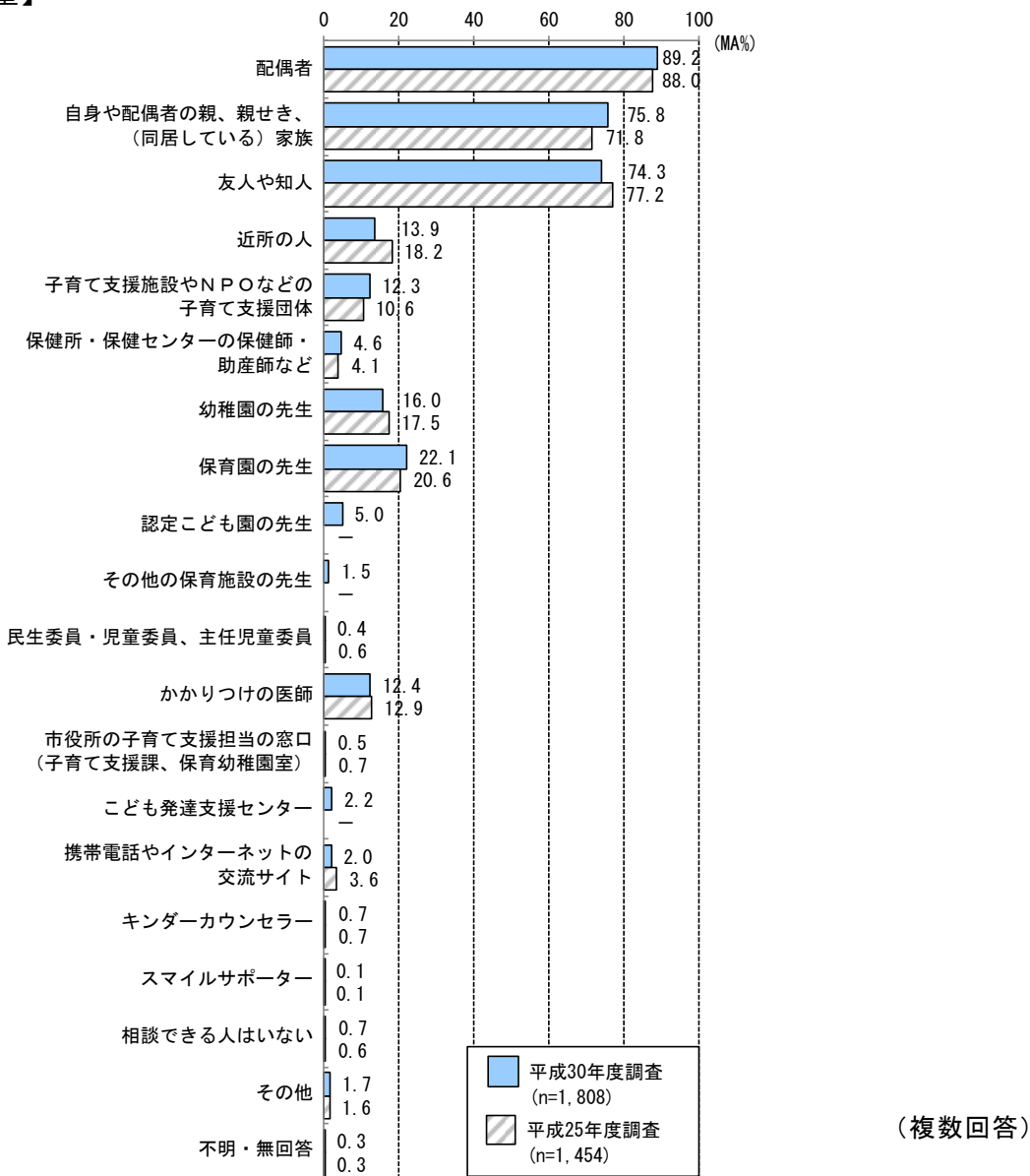
(3) 子育てや教育について相談できる人や場所

[就学前児童…問12、就学児童…問10]

問 お子さんの子育てや教育について、気軽に相談できる人や場所で当てはまるものをお答えください。(すべてに○)

【図 2-3 子育てや教育について相談できる人や場所 (就学前児童)】

【就学前児童】

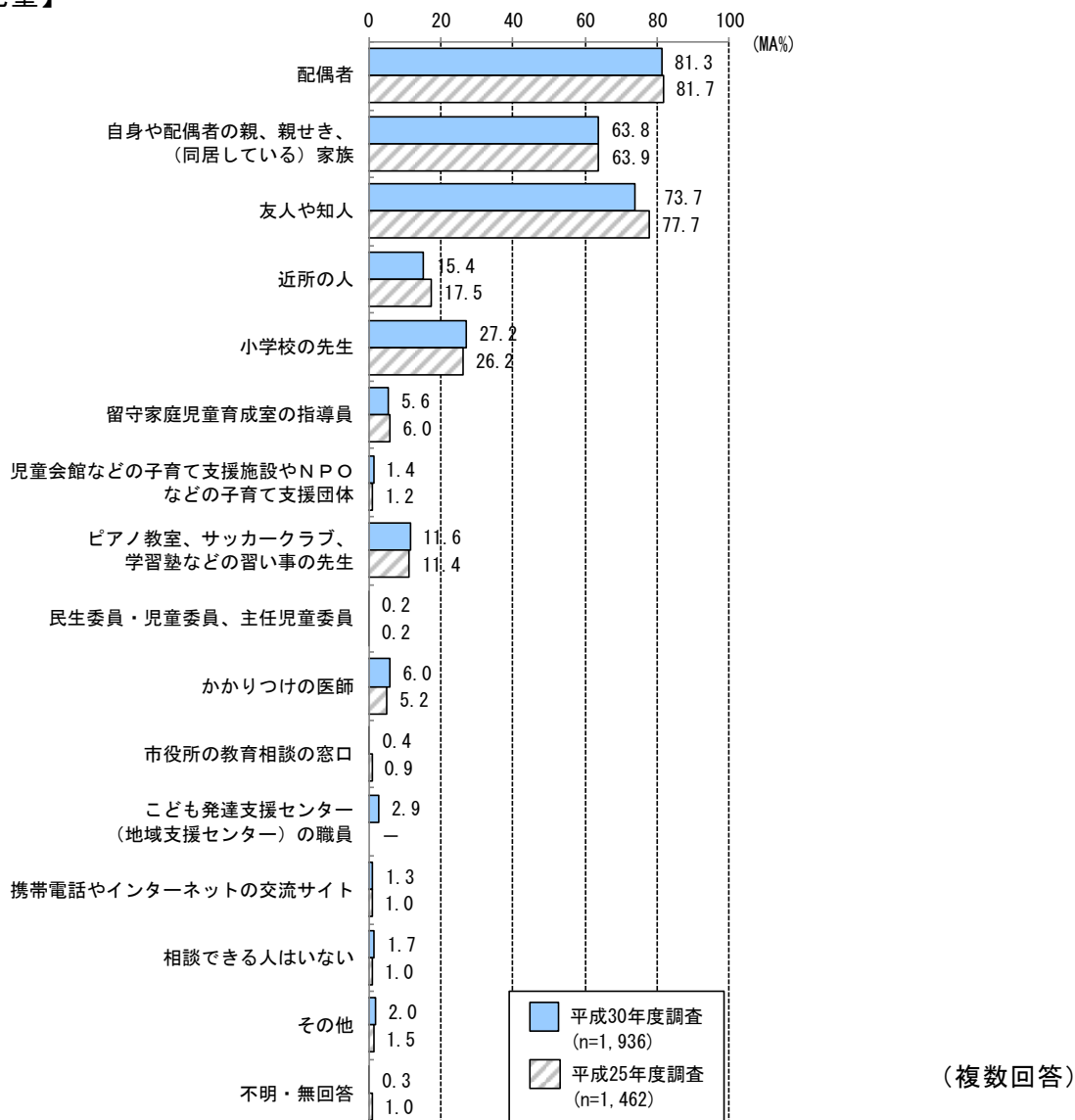


※「認定こども園の先生」、「その他の保育施設の先生」、「こども発達支援センター」は今回新たに追加した選択肢

就学前児童の保護者の相談相手は、「配偶者」(89.2%)が最も多い。次いで「自身や配偶者の親、親せき、(同居している) 家族」(75.8%)、「友人や知人」(74.3%)が続く。

【図 2-3-1 子育てや教育について相談できる人や場所（就学児童）】

【就学児童】



※「こども発達支援センター」は今回新たに追加した選択肢

就学児童の保護者の相談相手は、「配偶者」(81.3%)が最も多い。次いで「友人や知人」(73.7%)、「自身や配偶者の親、親せき、(同居している) 家族」(63.8%)が続く。平成25年度調査と比べても、この傾向は変わらない。

II. 調査結果

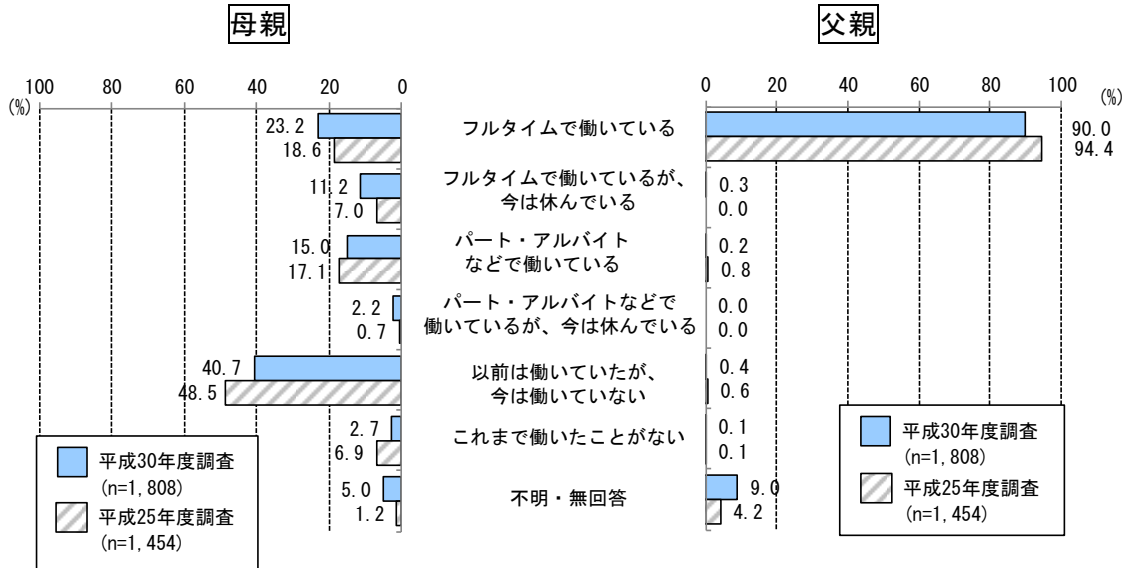
### 3 保護者の就労状況

#### (1) 保護者の就労形態

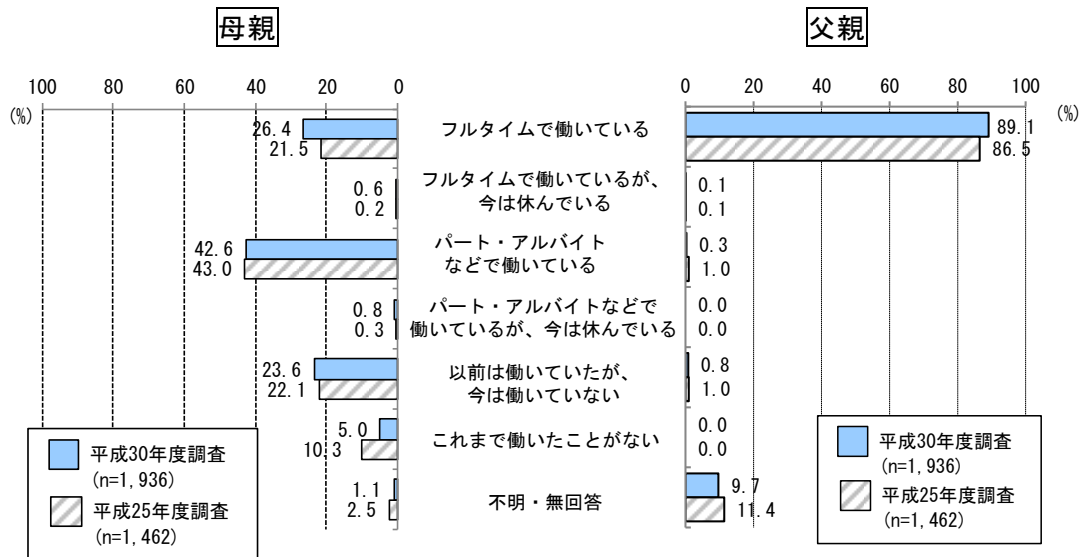
[就学前児童…問13・14、就学児童…問11・12]

【図 3-1 保護者の就労形態】

##### 【就学前児童】



##### 【就学児童】



就学前児童の母親の就労状況は、『フルタイムで就労』する割合が34.4%となっている。「以前は働いていたが、今は働いていない」は40.7%となっている。

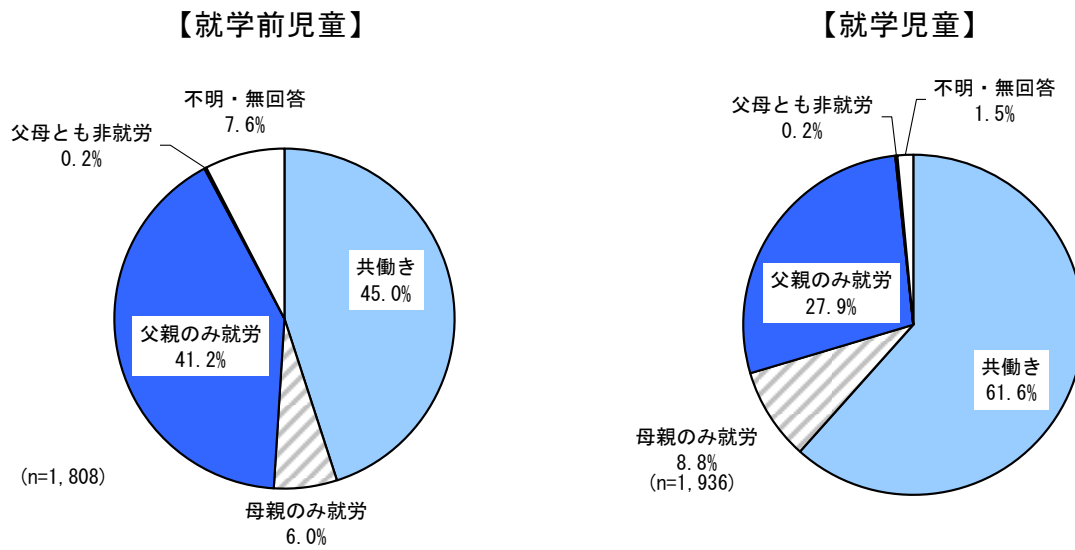
平成25年度調査と比べると、『フルタイムで就労』の割合は8.8ポイント高くなっている。

就学児童の母親の就労状況は、『フルタイムで就労』が27.0%、『パート・アルバイトで就労』が43.4%で、就労している母親が7割を超える。

平成25年度調査と比べると、母親の『フルタイムで就労』の割合は5.3ポイント高くなっている。

**共働きの状況**

【図 3-1-1 共働きの状況】



共働き家庭は、就学前児童では45.0%、就学児童では61.6%となっている。

II. 調査結果

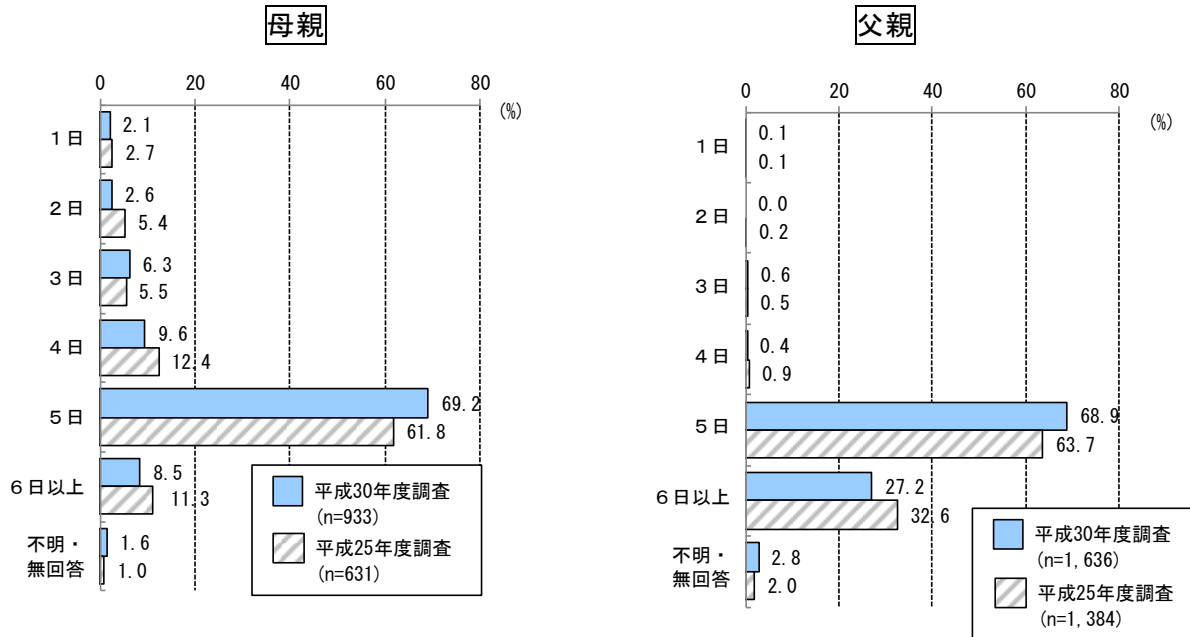
(2) 保護者の就労日数、就労時間

[就学前児童…問13-1・14-1、就学児童…問11-1・12-1]

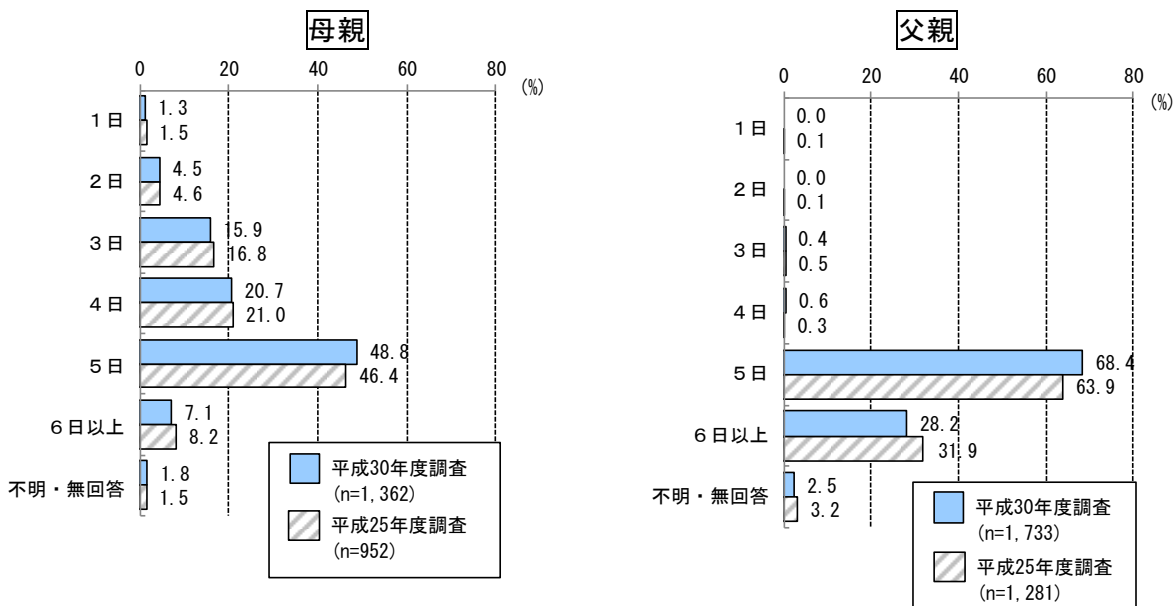
問 1週間にどのくらいの日数働きますか、1日あたりどのくらいの時間働きますか。また、家を出る時間と帰宅時間をお答えください。不規則な場合は、もっとも多いパターンをお答えください。今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。

【図 3-2 保護者の週あたりの就労日数】

【就学前児童】



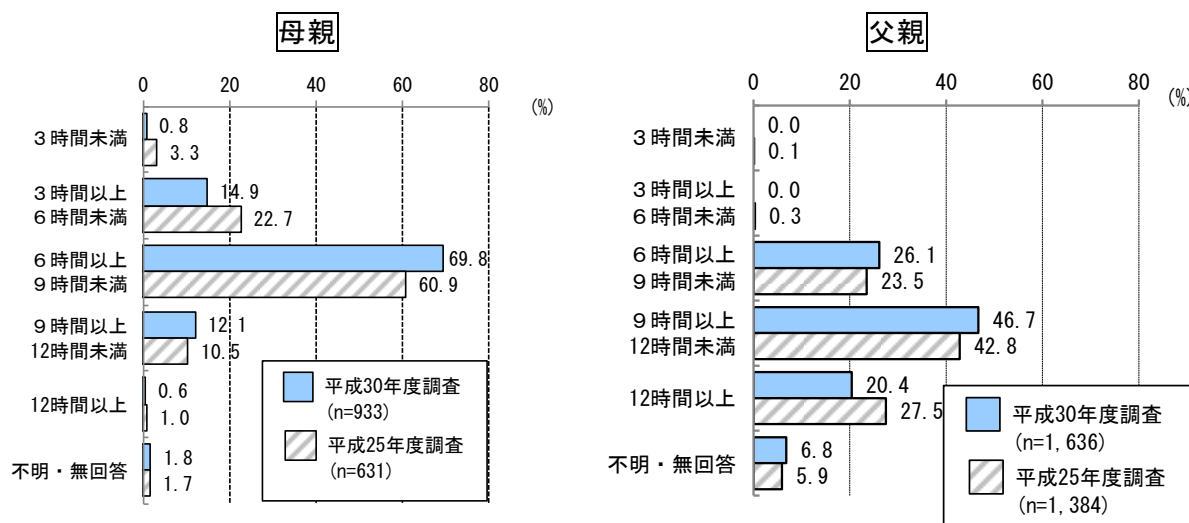
【就学児童】



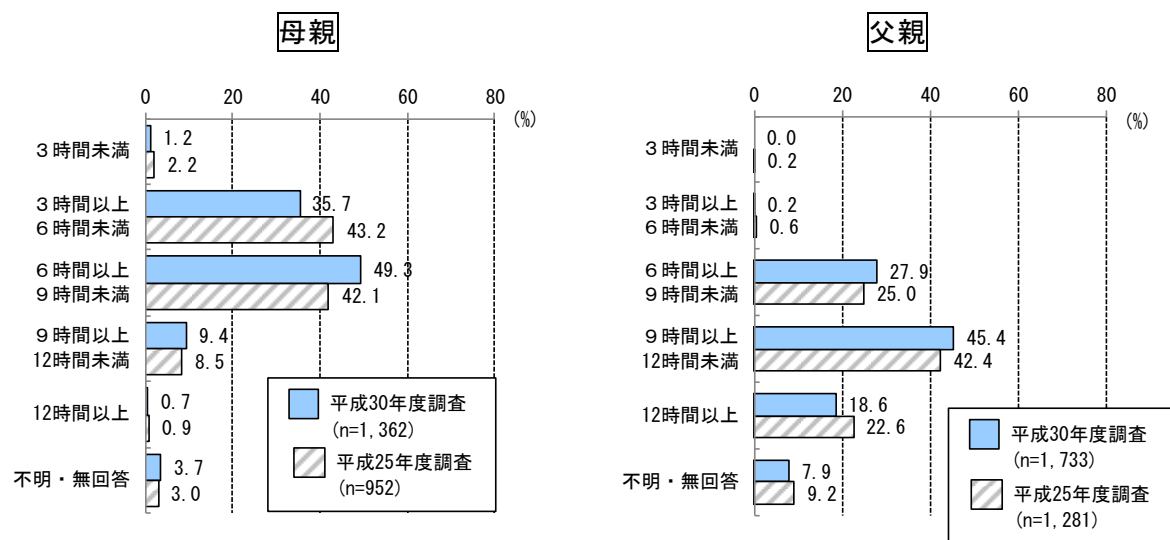


【図 3-2-1 保護者の1日あたりの就労時間】

【就学前児童】



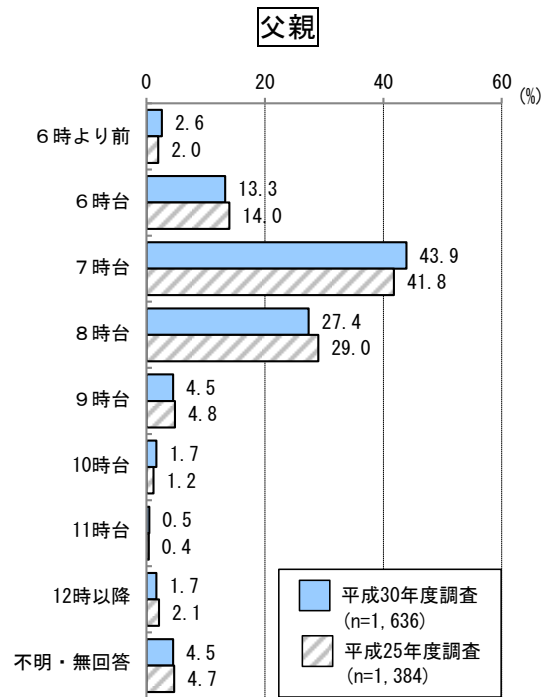
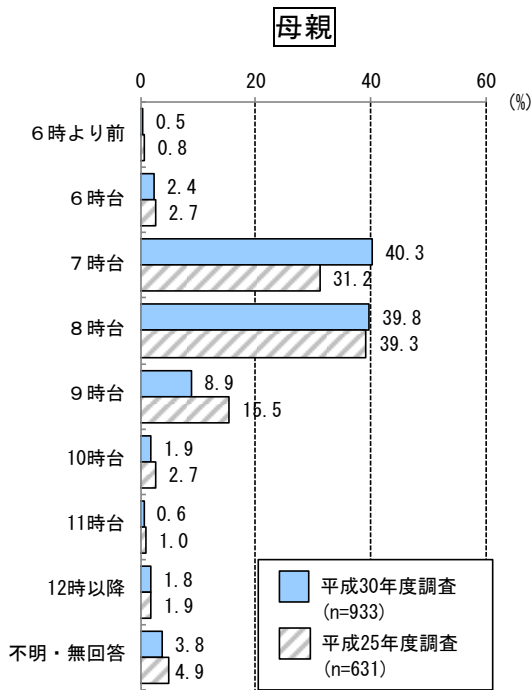
【就学児童】



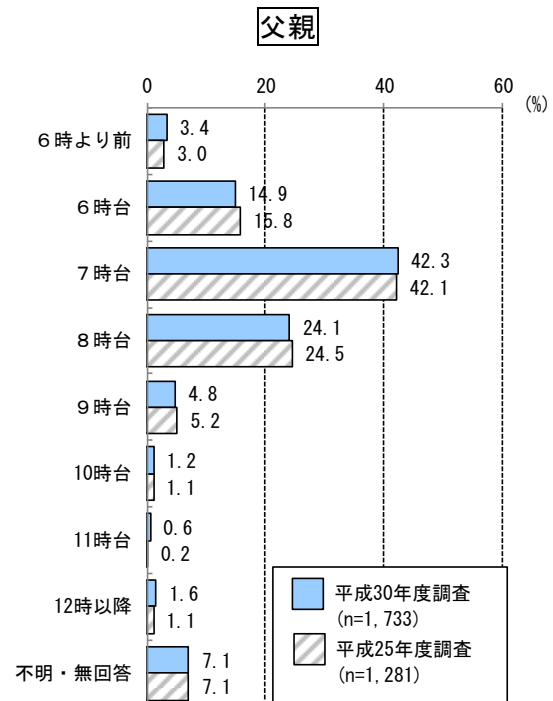
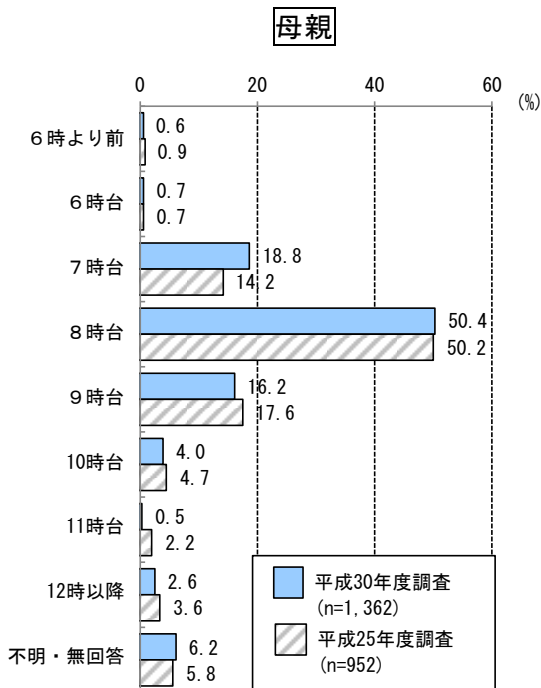
II. 調査結果

【図 3-2-2 保護者が家を出る時間】

【就学前児童】

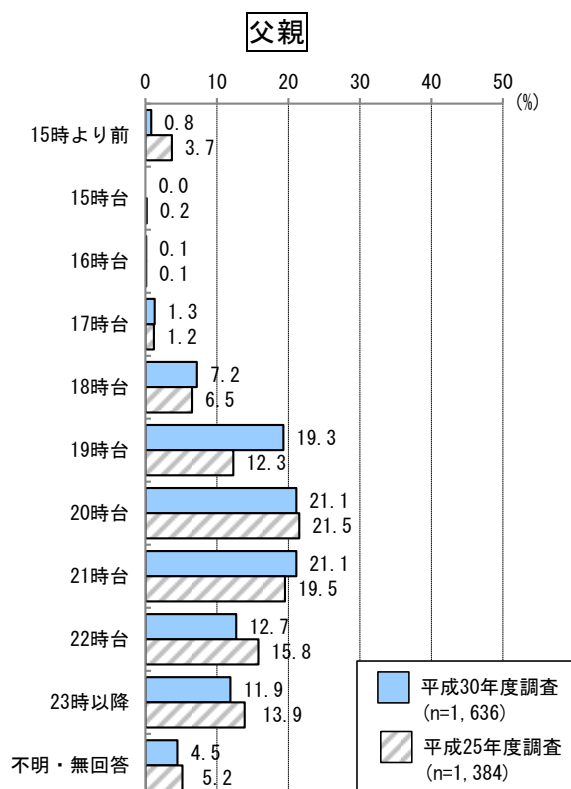
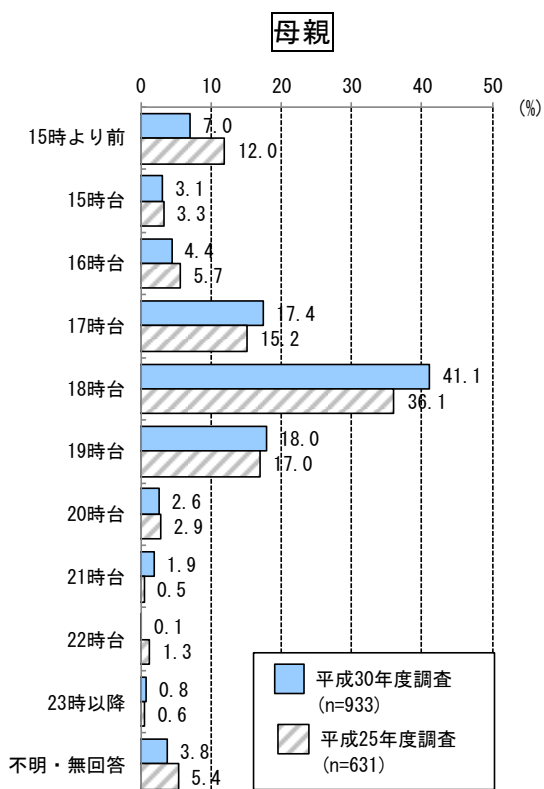


【就学児童】

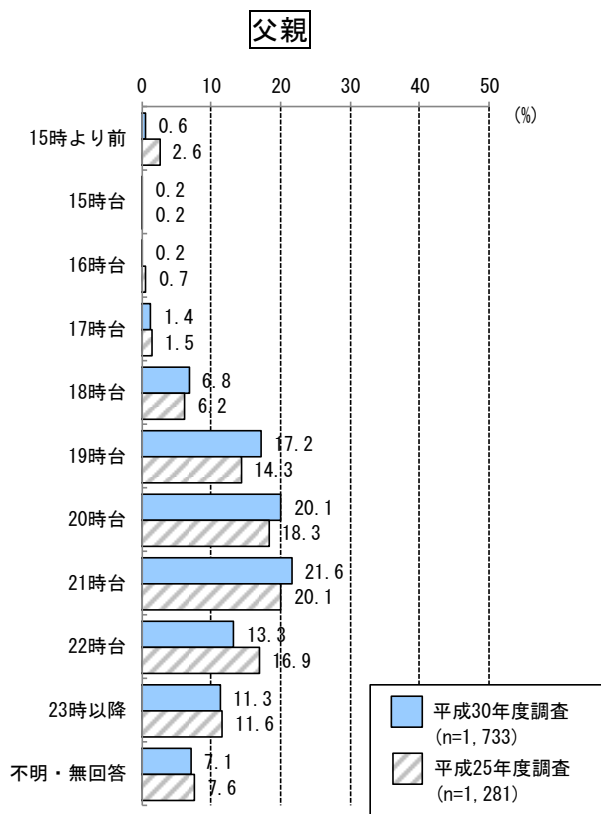
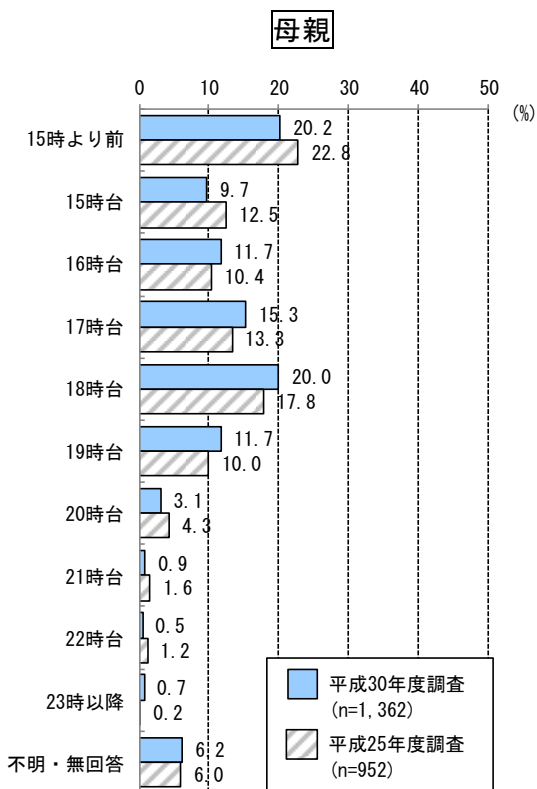


【図 3-2-3 保護者の帰宅時間】

【就学前児童】



【就学児童】



II. 調査結果

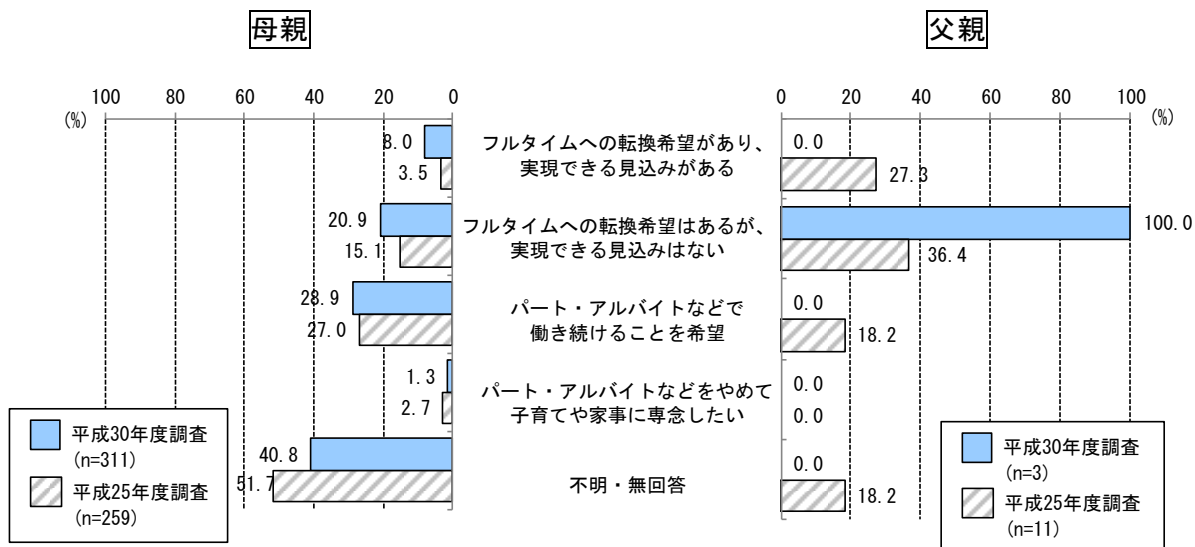
(3) フルタイムへの転換希望の有無

[就学前児童…問15、就学児童…問13]

問 フルタイムへの転換希望はありますか。(それぞれ1つに○)

【図 3-3 フルタイムへの転換希望の有無 (就学前児童)】

【就学前児童】

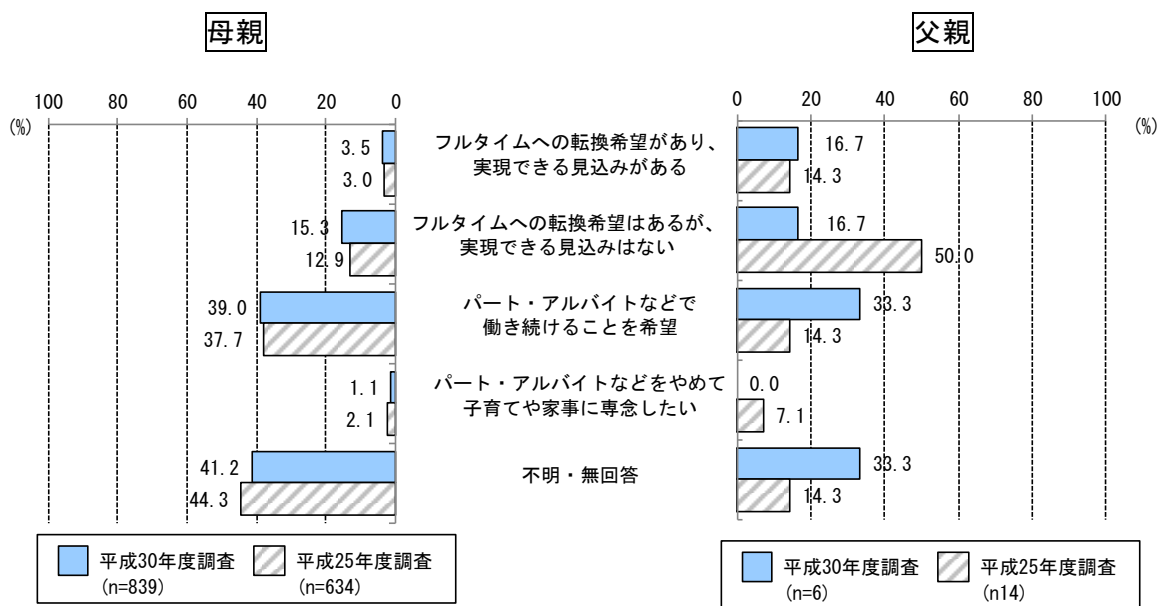


就学前児童の母親のフルタイムへの転換希望の有無について、「パート・アルバイトなどで働き続けることを希望」(28.9%)が最も多く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが実現できる見込みはない」(20.9%)が続く。

平成25年度調査と比べると、『フルタイムへの転換希望がある』母親の割合は28.9%で、10.3ポイント高くなっている。

【図 3-3-1 フルタイムへの転換希望の有無（就学児童）】

【就学児童】



就学児童の母親のフルタイムへの転換希望の有無について、「パート・アルバイトなどで働き続けることを希望」（39.0%）が最も多く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが実現できる見込みはない」（15.3%）が続く。

平成25年度調査と比べると、『フルタイムへの転換希望がある』母親の割合は18.8%で、2.9ポイント高くなっている。

II. 調査結果

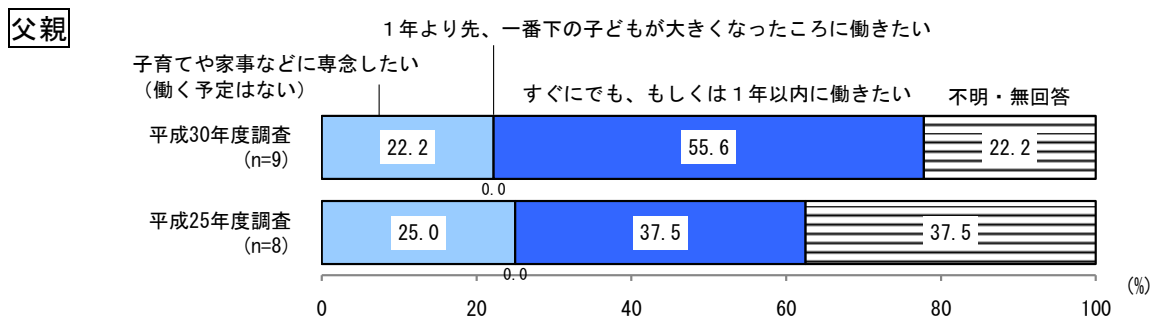
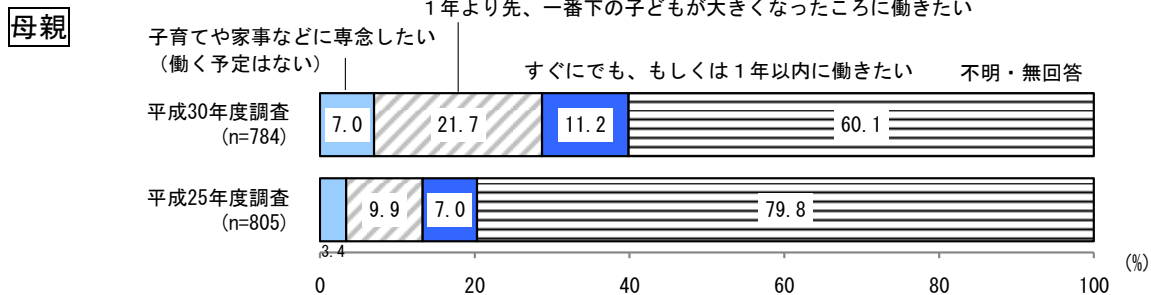
(4) 就労意向 (現在働いていない保護者)

[就学前児童…問16、就学児童…問14]

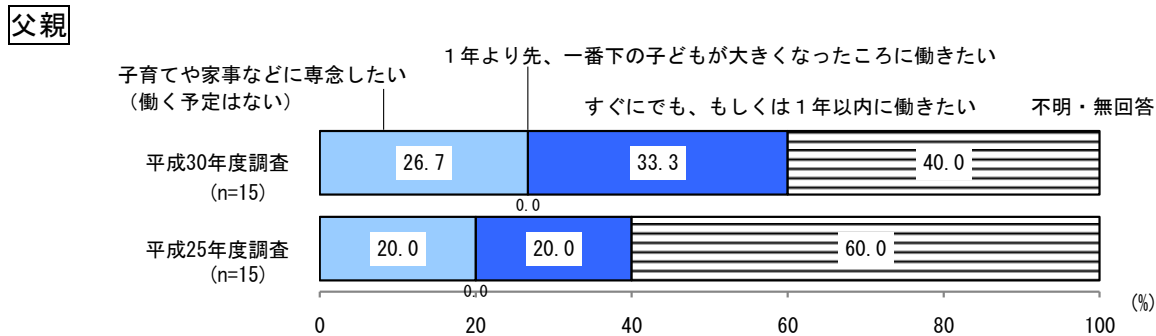
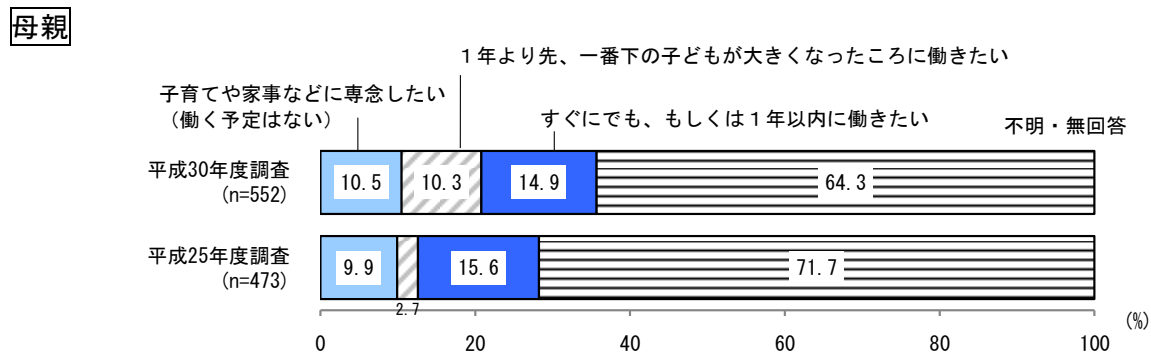
問 働きたいという希望はありますか。(それぞれ1つに○、( )内に数字を記入)

【図 3-4 就労意向】

【就学前児童】



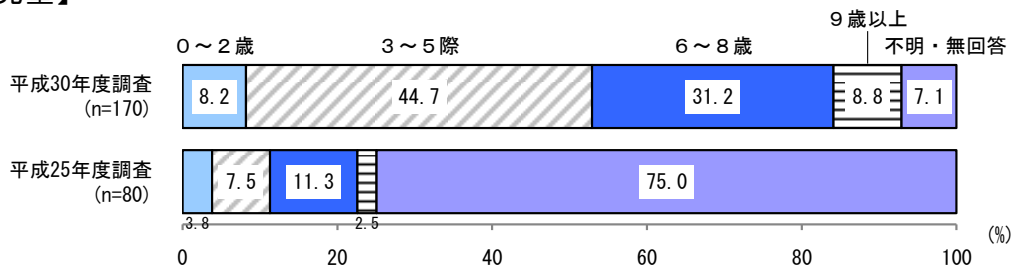
【就学児童】



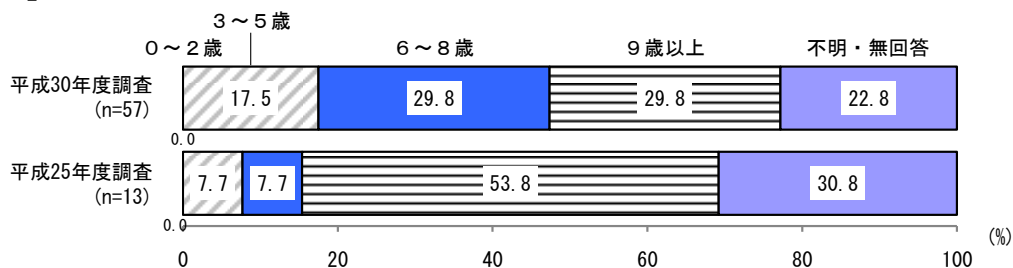
現在働いていない保護者の就労意向について、就学前児童の母親は「1年より先、一番下の子どもが大きくなったところに働きたい」(21.7%)が最も多く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい」(11.2%)が続く。就学児童の母親は「すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい」(14.9%)が最も多く、次いで「子育てや家事などに専念したい」(10.5%)が続く。

【図 3-4-1 母親が1年より先で働きたい時の一番下の子どもの年齢】

【就学前児童】

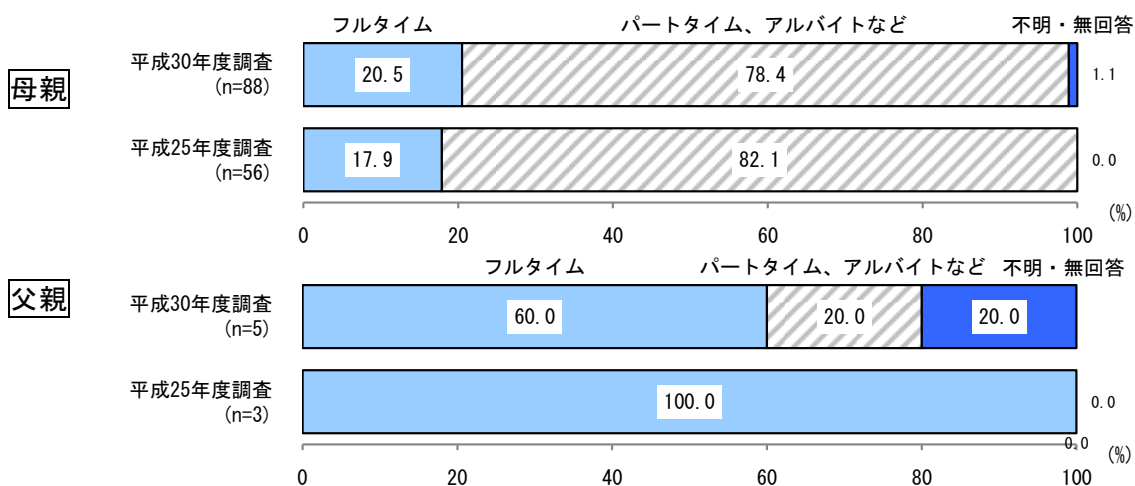


【就学児童】

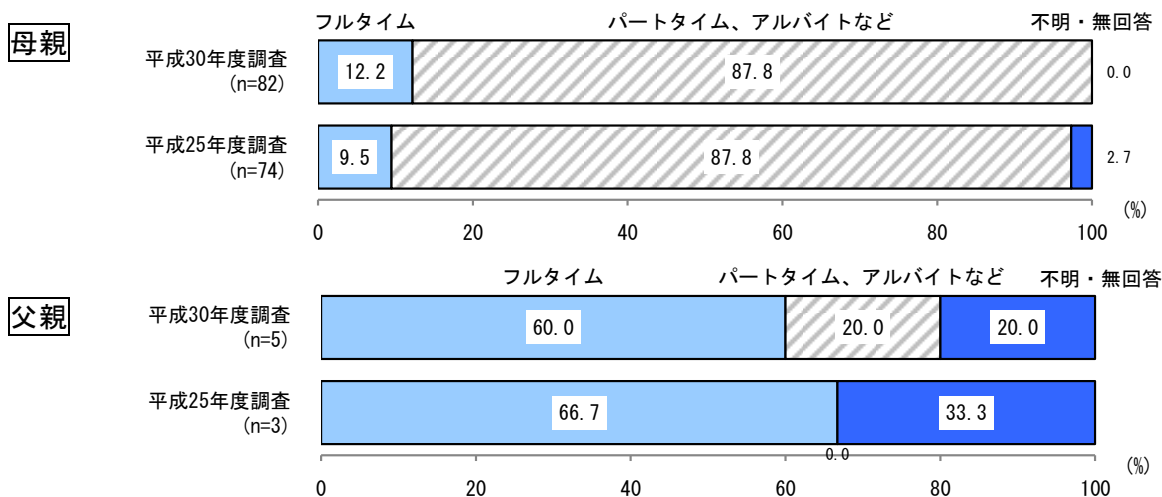


【図 3-4-2 保護者の希望する働き方】

【就学前児童】



【就学児童】

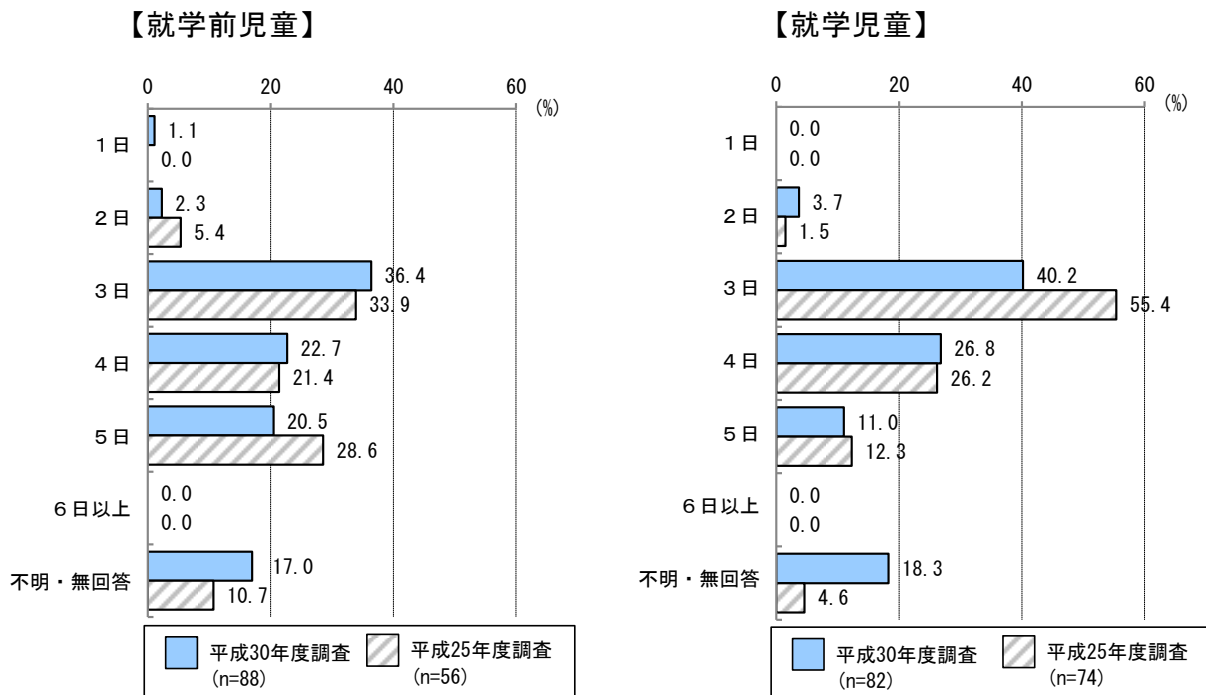


## II. 調査結果

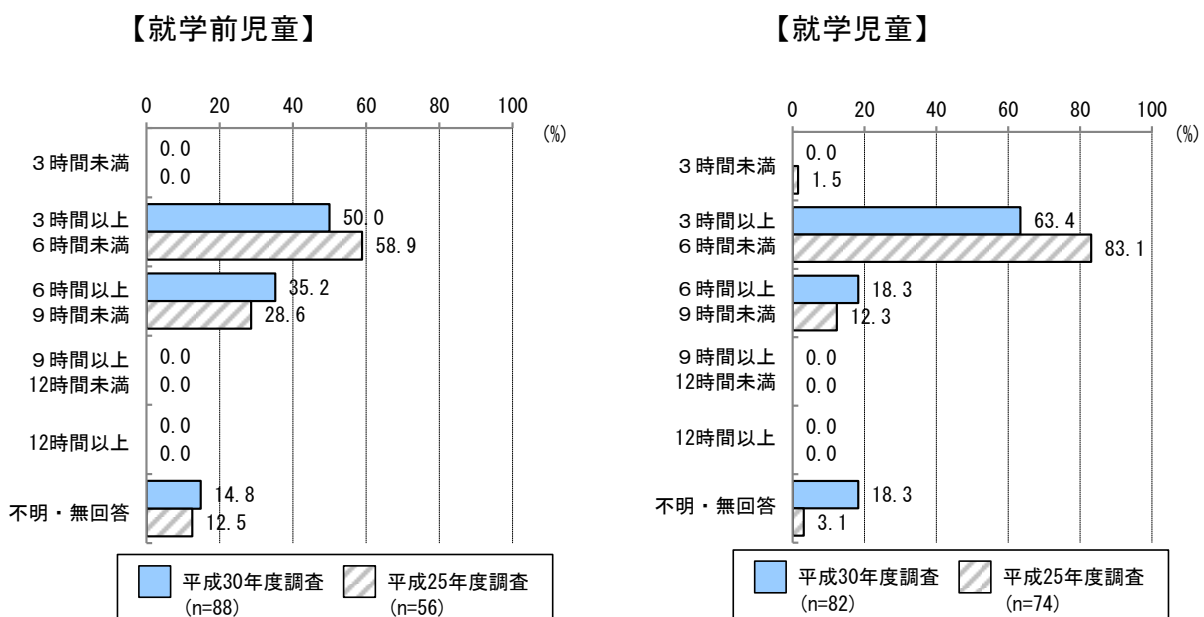
すぐにでも、もしくは1年以内に働きたいと回答した保護者に、希望する働き方をたずねたところ、就学前児童の母親は「パートタイム・アルバイトなど」が78.4%、「フルタイム」が20.5%となっている。就学児童の母親は「パートタイム・アルバイトなど」が87.8%、「フルタイム」が12.2%となっている。

平成25年度調査と比べると、就学前児童の母親、就学児童の母親ともに、「フルタイム」の割合が高くなっている。

【図 3-4-3 パートタイム・アルバイトと回答した母親の希望する1週あたりの勤務日数】



【図 3-4-4 パートタイム・アルバイトと回答した母親の希望する1日あたりの勤務時間】



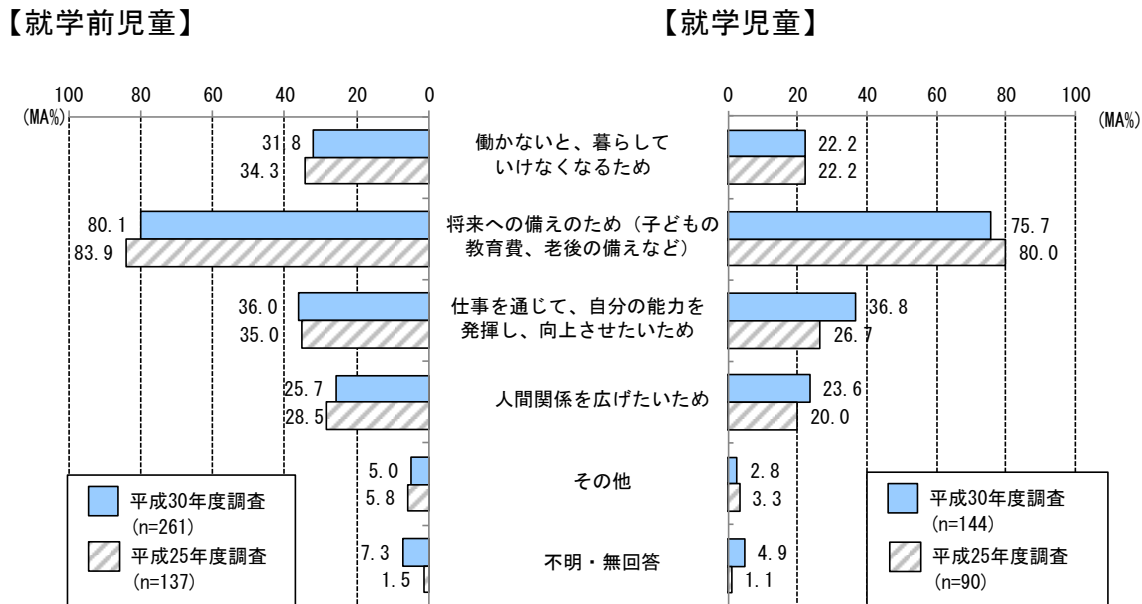


(5) 就労希望の理由（現在働いていない保護者）

[就学前児童…問16-1、就学児童…問14-1]

問 働きたい理由は何ですか。（すべてに○）

【図 3-5 就労希望の理由】



(複数回答)

現在働いていないが就労希望のある人に、その理由をたずねたところ、「将来への備えのため(子どもの教育費、老後の備えなど)」が最も多く(就学前児童:80.1%、就学児童:75.7%)、次いで「仕事を通じて、自分の能力を發揮し、向上させたいため」(就学前児童:36.0%、就学児童:36.8%)が続く。

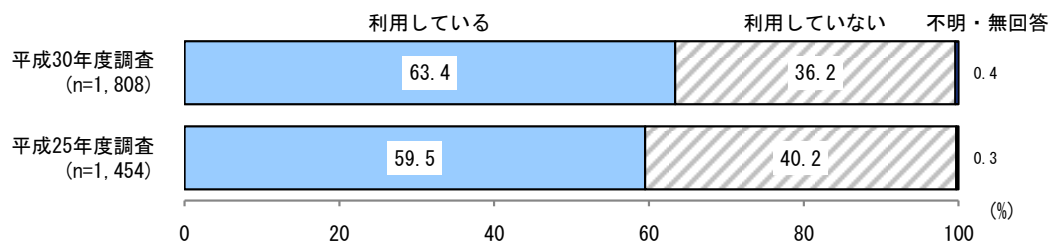
## 4 平日の保育園や幼稚園、認定こども園などの定期的な利用

### (1) 保育園や幼稚園、認定こども園などの、平日の定期的な利用の有無

[就学前児童…問17]

問 平日（月曜日から金曜日）に、保育園や幼稚園、認定こども園などの子どもを預かる施設やサービスを「定期的に」利用されていますか。（1つに○）

【図 4-1 平日の保育園や幼稚園、認定こども園などの利用の有無】



保育園や幼稚園、認定こども園などの子どもを預かる施設やサービスの平日の定期的な利用の有無について、「利用している」は63.4%となっている。

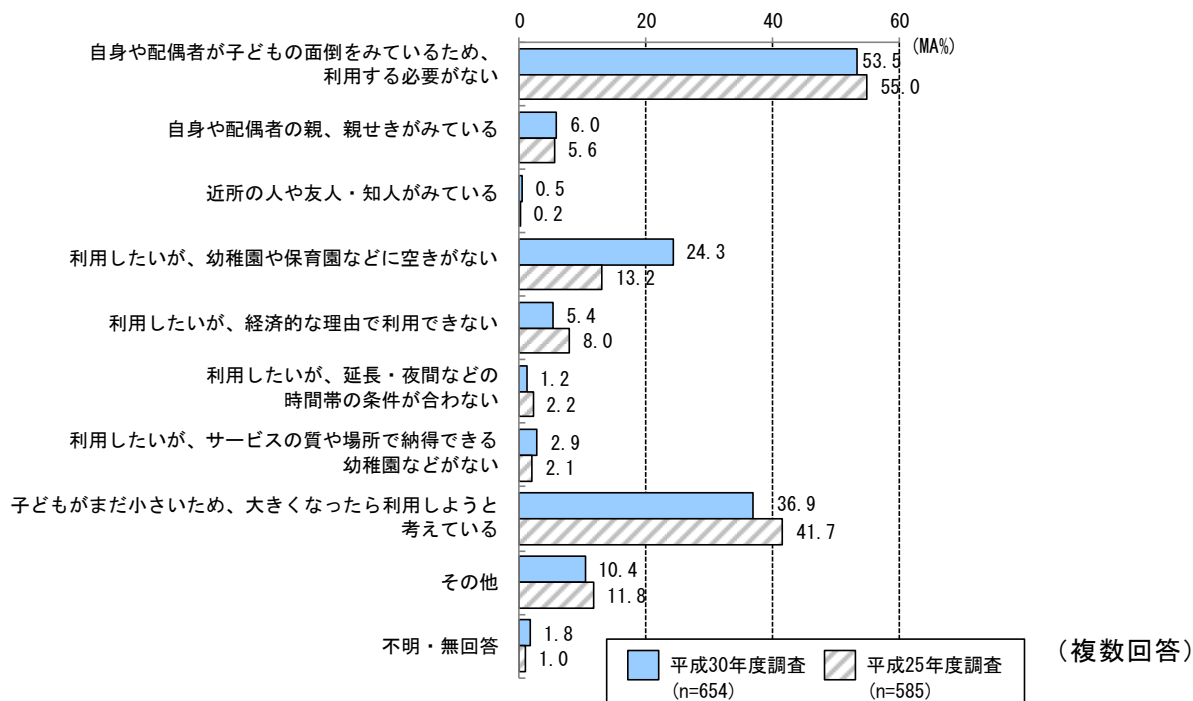
平成25年度調査と比べると、「利用している」割合は3.9ポイント高くなっている。

## (2) 保育園や幼稚園、認定こども園などを利用していない理由

[就学前児童…問17-1]

問 保育園や幼稚園、認定こども園などの施設やサービスを利用していない理由は何ですか。(すべてに○)

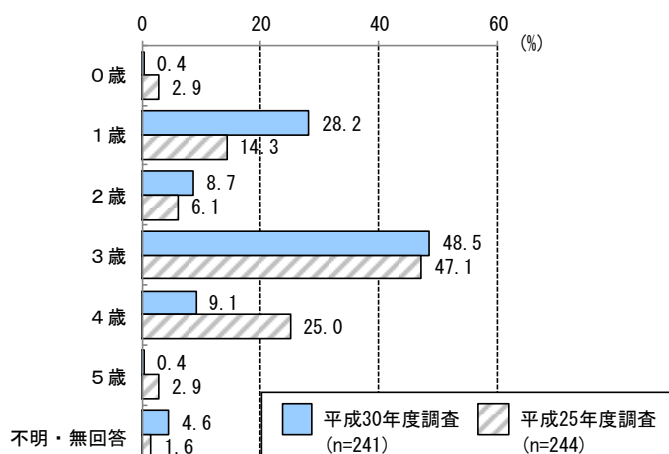
【図 4-2 保育園や幼稚園、認定こども園などを利用していない理由】



平日に保育園や幼稚園、認定こども園などを定期的にご利用していない人に、その理由をたずねたところ、「自身や配偶者が子どもの面倒をみているため、利用する必要がない」(53.5%)が最も多く、次いで「子どもがまだ小さいため、大きくなったら利用しようと考えている」(36.9%)、「利用したいが、幼稚園や保育園などに空きがない」(24.3%)が続く。

平成25年度調査と比べると、「利用したいが、幼稚園や保育園などに空きがない」の割合が11.1ポイント高くなっている。

【図 4-2-1 ある程度大きくなったら利用しようと思う子どもの年齢】



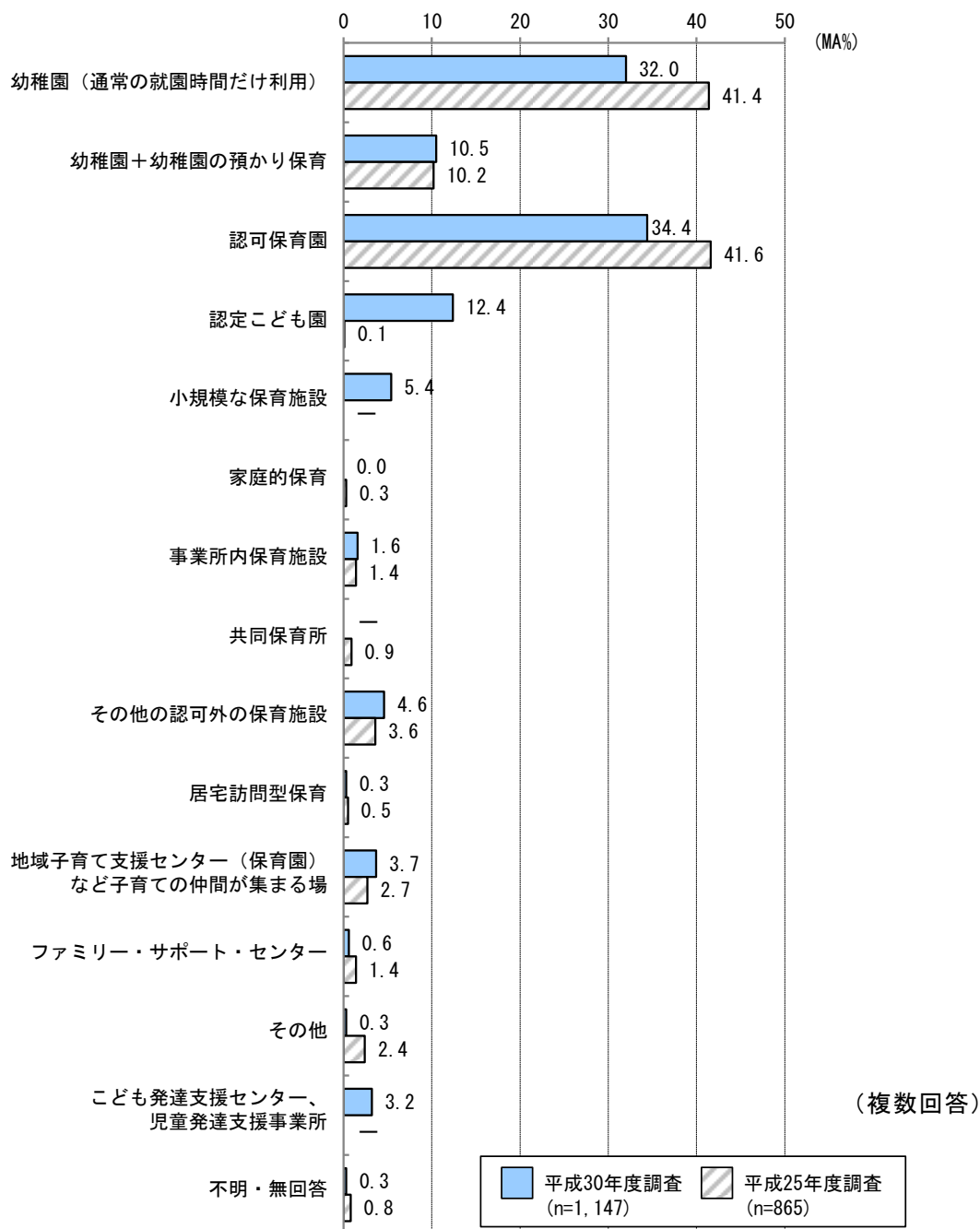
II. 調査結果

(3) 現在利用している施設やサービス

[就学前児童…問17-2]

問 お子さんは、現在、どのような施設やサービスを利用していますか。年間を通じて平日（月曜日から金曜日）に定期的に利用されているサービスについてお答えください。（すべてに○）

【図 4-3 現在利用している施設やサービス】



※「小規模な保育施設」、「こども発達支援センター、児童発達支援事業所」は今回新たに追加した選択肢  
 ※「共同保育所」は平成25年度調査のみの選択肢

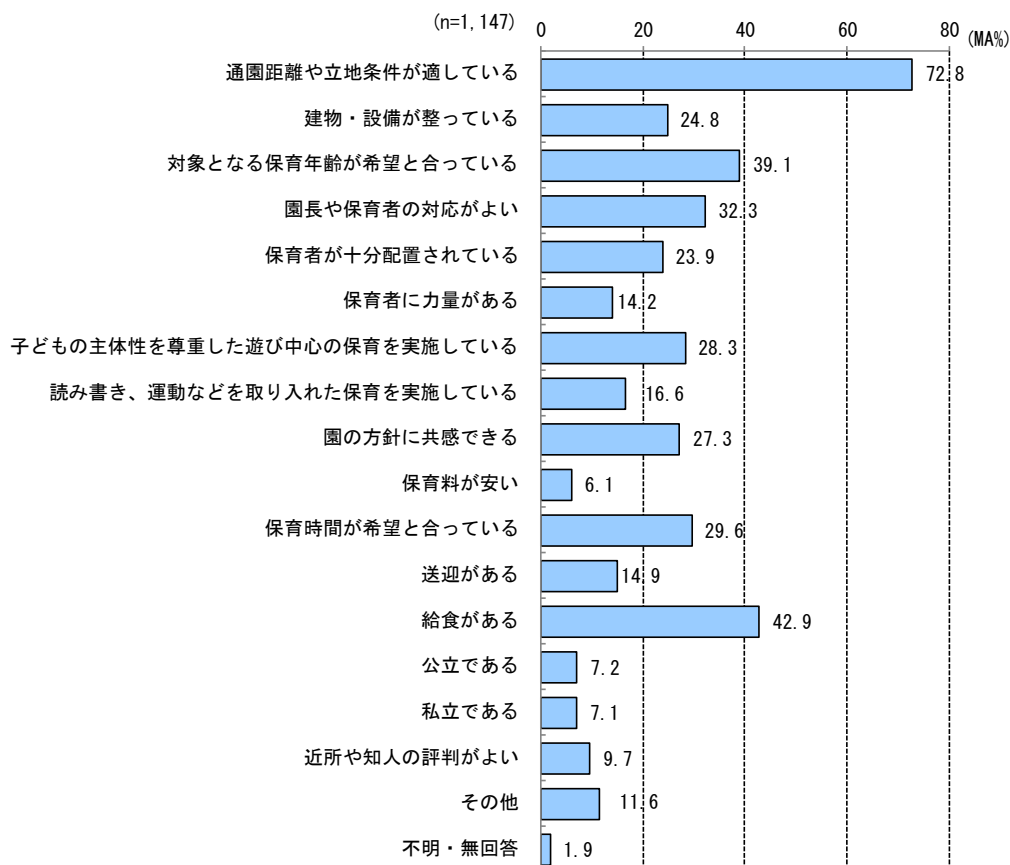
平日に定期的に利用している施設やサービスについては、「認可保育園」（34.4%）が最も多く、次いで「幼稚園（通常の就園時間だけ利用）」（32.0%）、「認定こども園」（12.4%）が続く。

(4) 施設やサービスを利用している理由

[就学前児童…問17-3]

問 問17-2で回答した施設やサービスを利用している理由は何ですか。(すべてに○)

【図 4-4 施設やサービスを利用している理由】



(複数回答)

なぜその施設やサービスを選んだのか理由をたずねたところ、「通園距離や立地条件が適している」(72.8%)が最も多く、次いで「給食がある」(42.9%)、「対象となる保育年齢が希望と合っている」(39.1%)、「園長や保育者の対応が良い」(32.3%)が続く。

## II. 調査結果

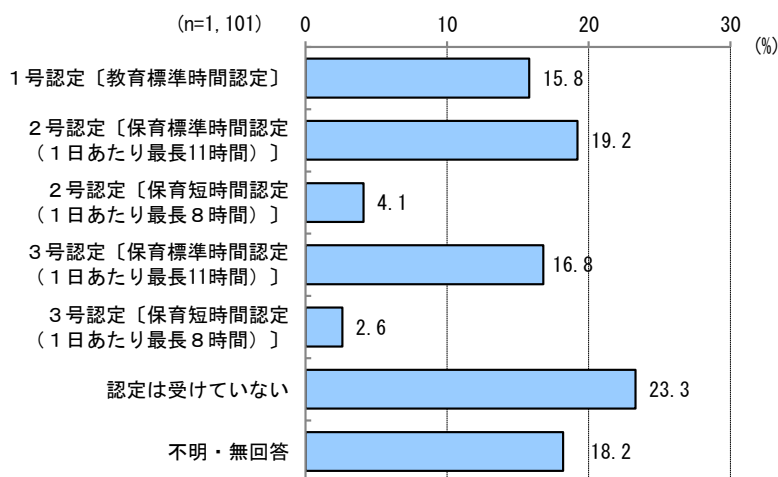
### (5) 支給認定を受けているか

[就学前児童…問17-4]

問 現在、「幼稚園」、「幼稚園＋幼稚園の預かり保育」、「認可保育園」、「認定こども園」、「小規模な保育施設」、「家庭的保育」、「事業所内保育施設」、「その他の認可外の保育施設」、「居宅訪問型保育」のいずれかを利用されている方に。

保育の必要性の有無や保育の必要量について認定（「支給認定」）を受けている場合は、該当の番号に○印をつけてください。（1つに○）

【図 4-5 支給認定の有無】



現在、「幼稚園」、「幼稚園＋幼稚園の預かり保育」、「認可保育園」、「認定こども園」、「小規模な保育施設」、「家庭的保育」、「事業所内保育施設」、「その他の認可外の保育施設」、「居宅訪問型保育」のいずれかを利用されている方に、支給認定の有無をたずねたところ、「認定は受けていない」(23.3%)が最も多く、次いで「2号認定 [保育標準時間認定] (1日あたり最長11時間)」(19.2%)、「3号認定 [保育標準時間認定 (1日あたり最長11時間)]」(16.8%)が続く。

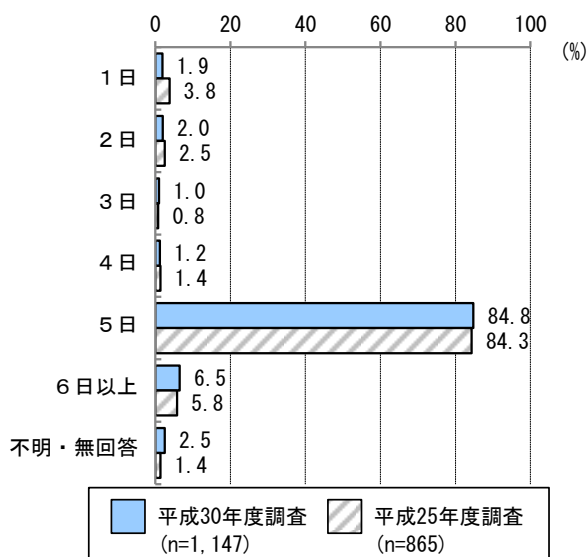
(6) 保育園や幼稚園、認定こども園などの施設やサービスの利用日数と利用時間

[就学前児童…問17-5]

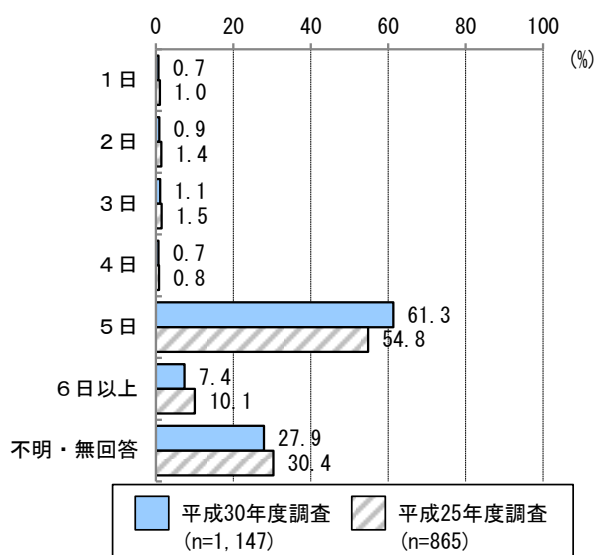
問 現在利用している保育園や幼稚園、認定こども園などの施設やサービスについて、もっとも多いパターンとして、1週間に何日利用し、また、1日あたり何時間（何時から何時まで）利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。

【図 4-6 施設やサービスの利用（希望）日数と利用（希望）時間】

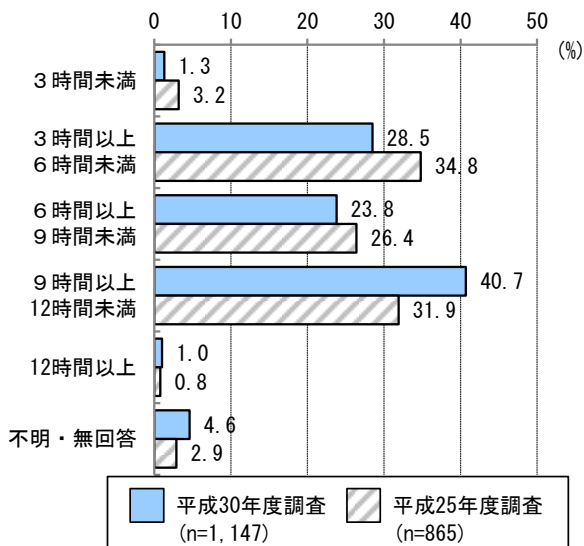
■ 1週間あたり利用日数【現在】



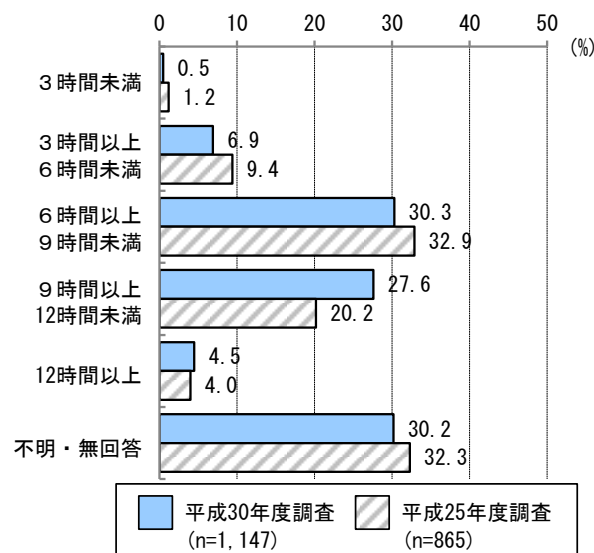
■ 1週間あたり利用希望日数【希望】



■ 1日あたり利用時間【現在】



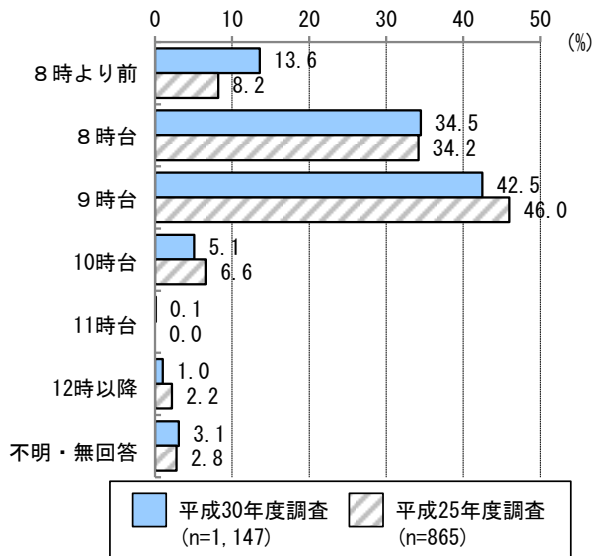
■ 1日あたり利用希望時間【希望】



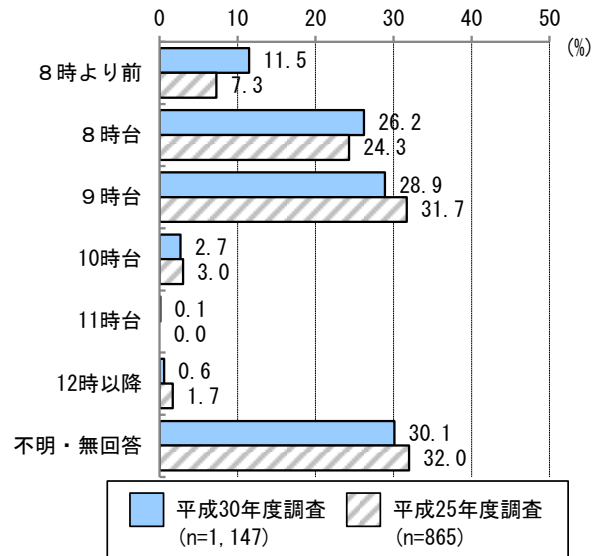
## II. 調査結果

【図 4-6-1 施設やサービスの利用（希望）開始時間と利用（希望）終了時間】

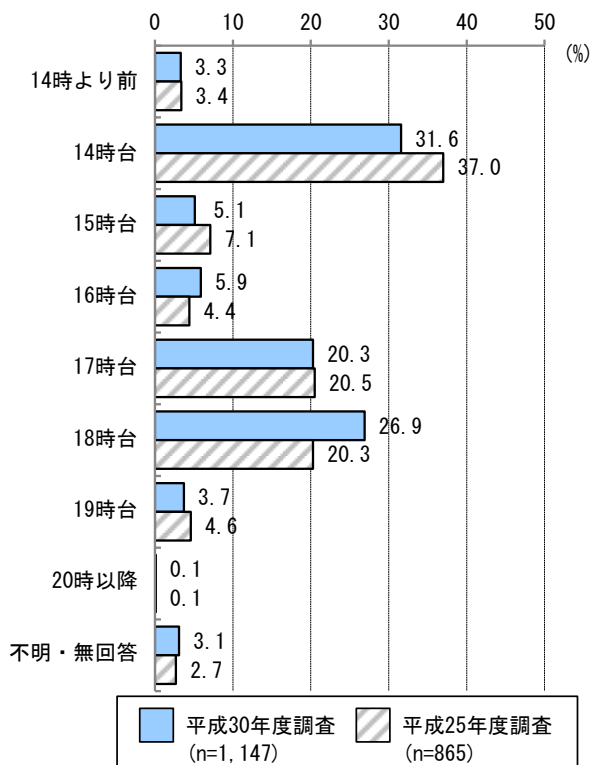
### ■ 利用開始時間【現在】



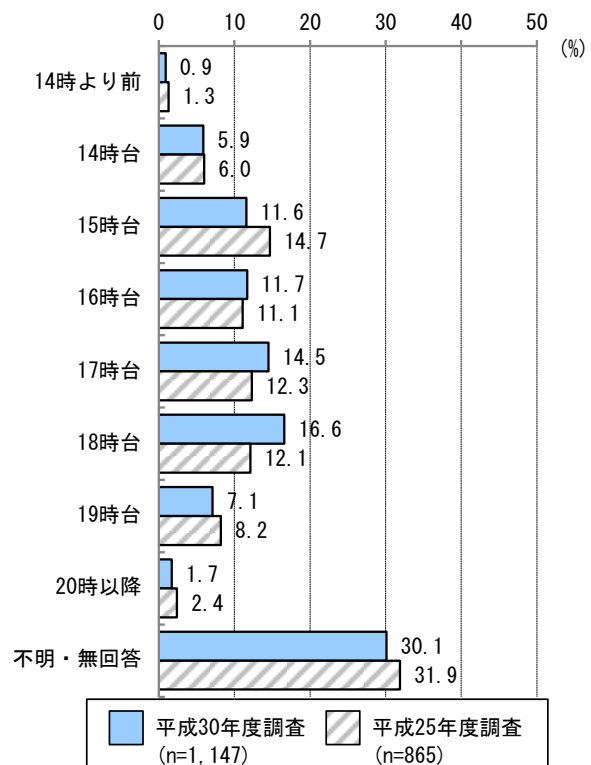
### ■ 利用希望開始時間【希望】



### ■ 利用終了時間【現在】



### ■ 利用希望終了時間【希望】



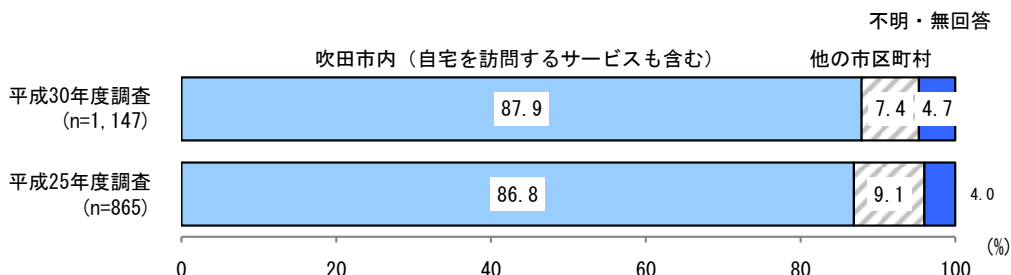


(7) 保育園や幼稚園、認定こども園などの所在地

[就学前児童…問17-6]

問 現在、利用されている施設などはどこにありますか。(1つに○)

【図 4-7 施設やサービスの所在地】



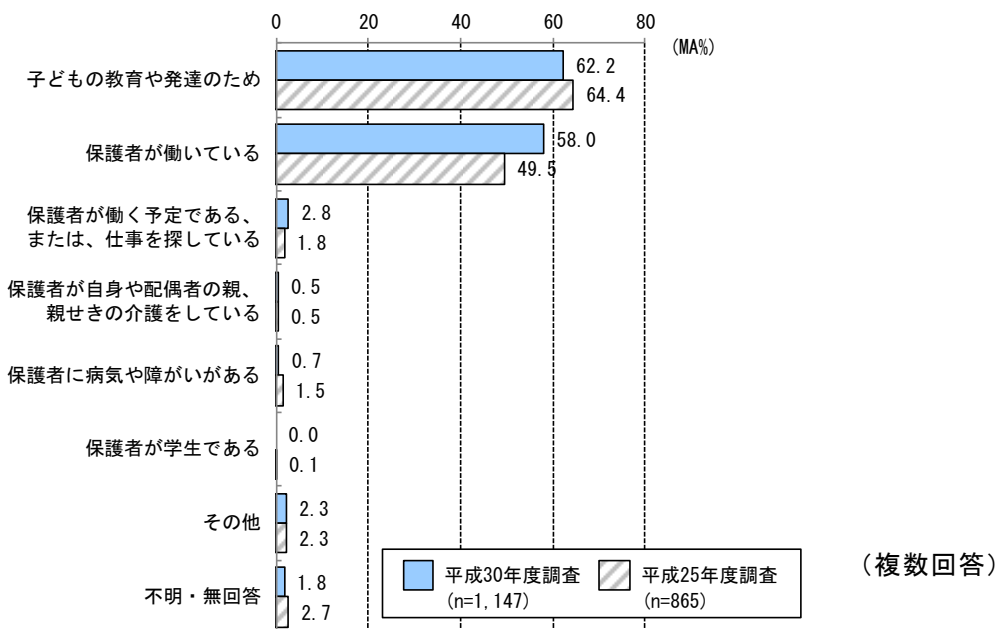
利用している施設などの所在地について、「吹田市内(自宅を訪問するサービスも含む)」が87.9%、「他の市区町村」が7.4%となっている。

(8) 保育園や幼稚園、認定こども園などを利用している理由

[就学前児童…問17-7]

問 保育園や幼稚園、認定こども園などの施設やサービスを利用されている理由は何ですか。(すべてに○)

【図 4-8 施設やサービスを利用している理由】



保育園や幼稚園、認定こども園などの施設やサービスを利用する理由について、「子どもの教育や発達のため」(62.2%)が最も多く、次いで「保護者が働いている」(58.0%)が続く。

平成25年度調査と比べると、「保護者が働いている」割合が8.5ポイント高くなっている。

II. 調査結果

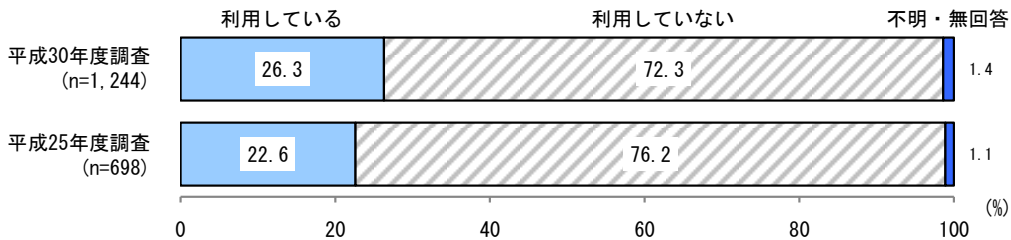
## 5 小学校終了後の放課後の過ごし方

### (1) 留守家庭児童育成室の利用状況

[就学児童…問15]

問 平日（月曜日から金曜日）に、現在、留守家庭児童育成室を利用されていますか。  
（1つに○）

【図 5-1 留守家庭児童育成室の利用の有無】



\* 平成 30 年度調査は、小学 1～4 年を集計  
\* 平成 25 年度調査は、小学 1～3 年生を対象とした質問

留守家庭児童育成室の利用状況は、「利用している」が 26.3%、「利用していない」が 72.3%となっている。

平成 25 年度調査と比べると、「利用している」が 3.7 ポイント高くなっている。

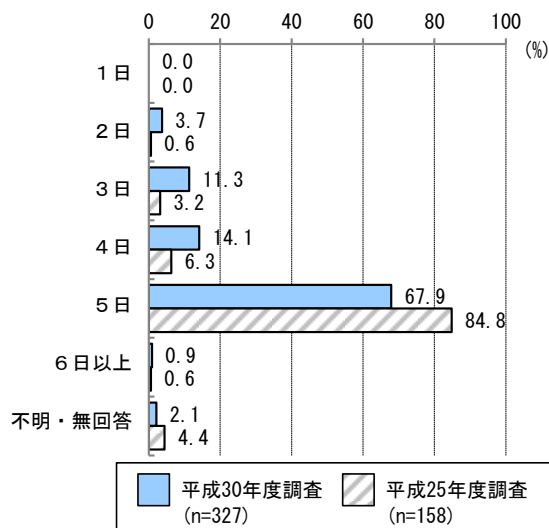
### (2) 留守家庭児童育成室の利用日数・時間及び希望日数・時間

[就学児童…問16]

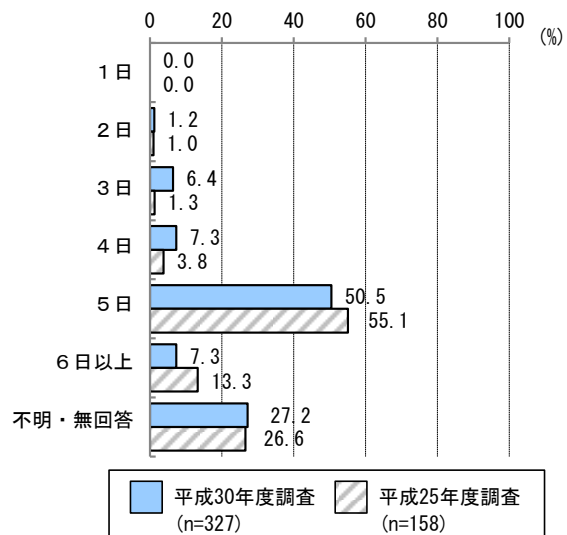
問 現在利用している留守家庭児童育成室について、もっとも多いパターンとして、1週間に何日利用し、また、1日あたり何時間（何時まで）利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。

【図 5-2 留守家庭児童育成室の1週間あたりの利用日数及び希望日数】

#### ■ 1週間あたり利用日数【現在】

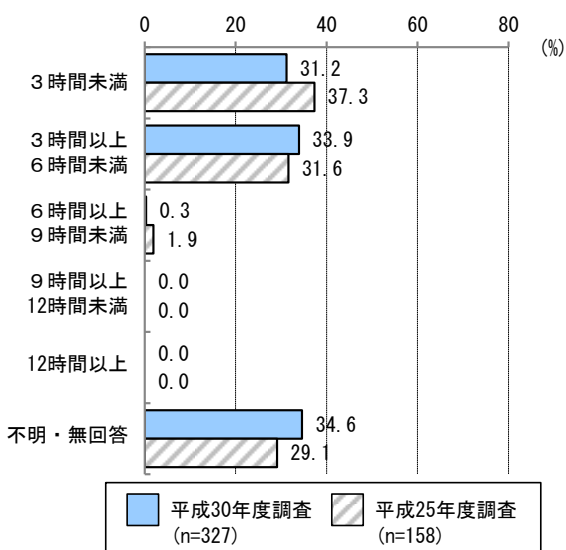


#### ■ 1週間あたり利用希望日数【希望】

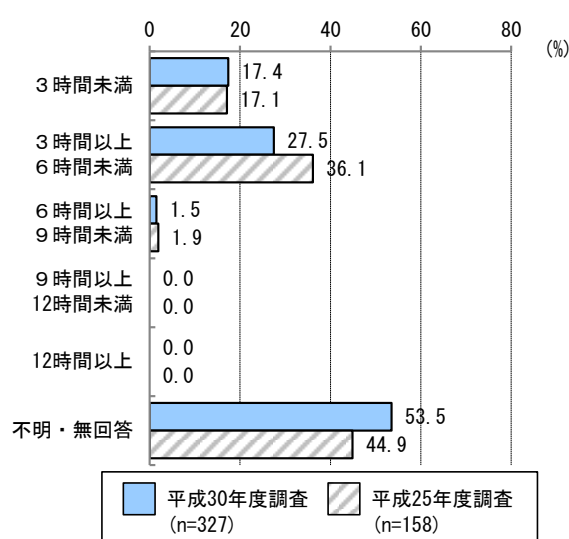


【図 5-2-1 留守家庭児童育成室の利用時間及び希望時間】

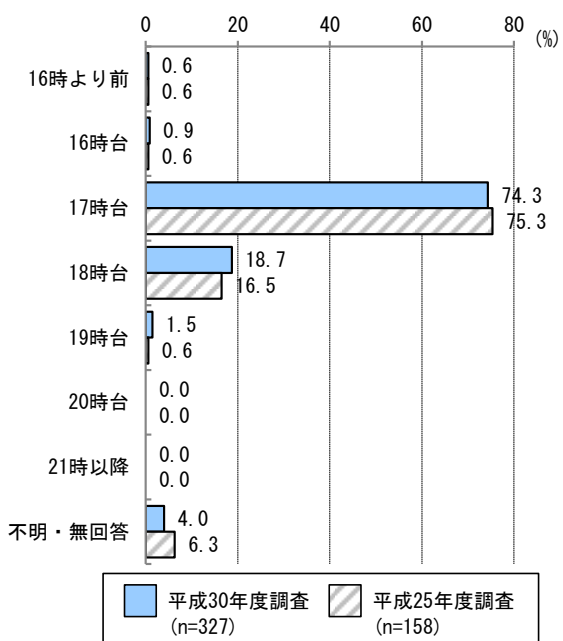
■ 1日あたり利用時間【現在】



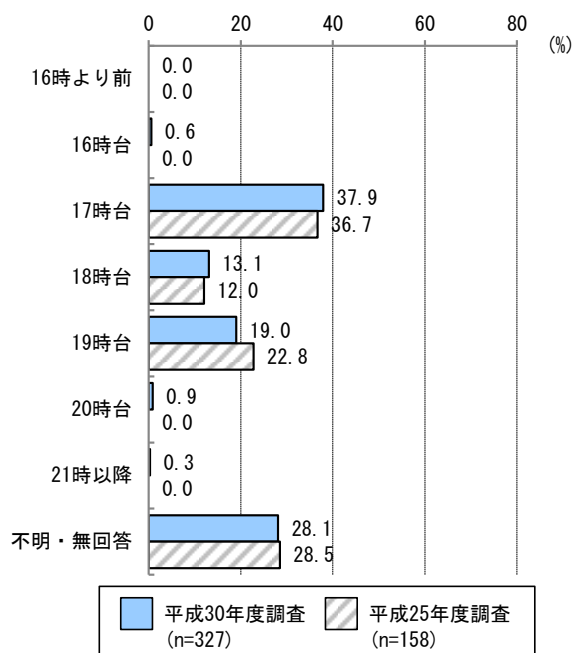
■ 1日あたり利用希望時間【希望】



■ 利用終了時間【現在】



■ 利用希望終了時間【希望】



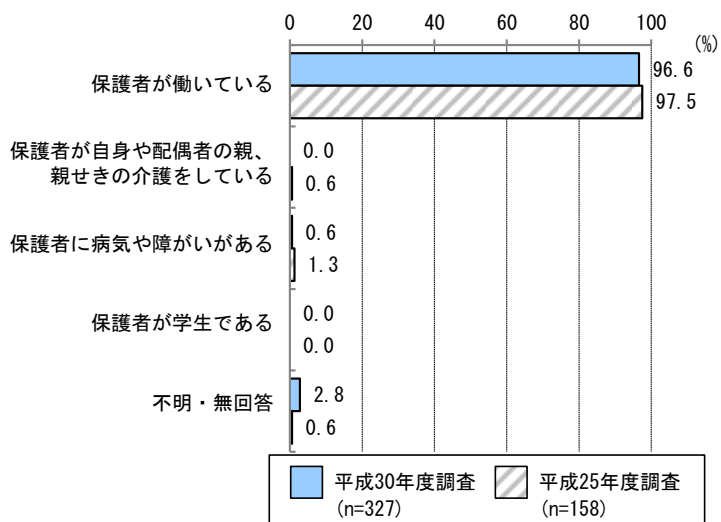
## II. 調査結果

### (3) 留守家庭児童育成室を利用している理由

[就学児童…問16-1]

問 留守家庭児童育成室を利用されている理由は何ですか。(1つに○)

【図 5-3 留守家庭児童育成室の利用理由】



留守家庭児童育成室の利用理由について、「保護者が働いている」(96.6%)が最も多い。平成25年度調査と比べてもその傾向は変わらない。

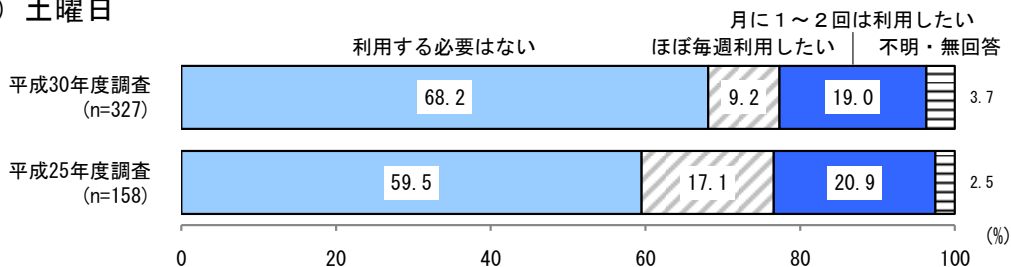
(4) 留守家庭児童育成室の土曜日、日曜日・祝日の利用希望

[就学児童…問16-2]

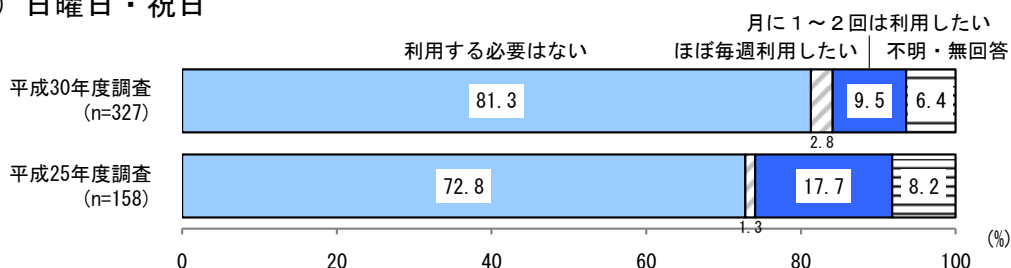
問 土曜日、日曜日・祝日に、留守家庭児童育成室の利用希望がありますか。仕事や介護などによる定期的な利用で、一時的な利用は除きます。(1つに○) 希望がある場合は、枠内に具体的な数字をお答えください。

【図 5-4 留守家庭児童育成室の土曜日、日曜日・祝日の利用希望】

(1) 土曜日



(2) 日曜日・祝日



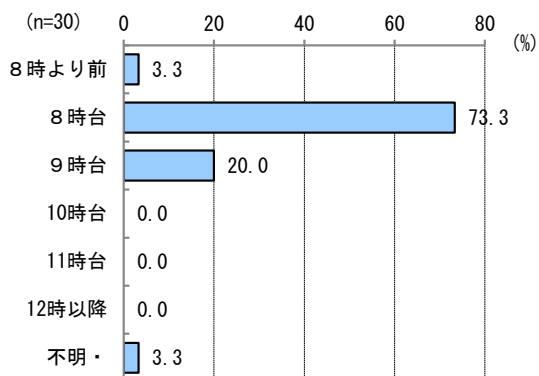
留守家庭児童育成室を利用している人に、土曜日、日曜日・祝日の利用希望をたずねたところ、土曜日、日曜日・祝日ともに「利用する必要はない」が最も多く（土曜日：68.2%、日曜日・祝日：81.3%）、次いで「月に1～2回は利用したい」（土曜日：19.0%、日曜日・祝日：9.5%）が続く。

## II. 調査結果

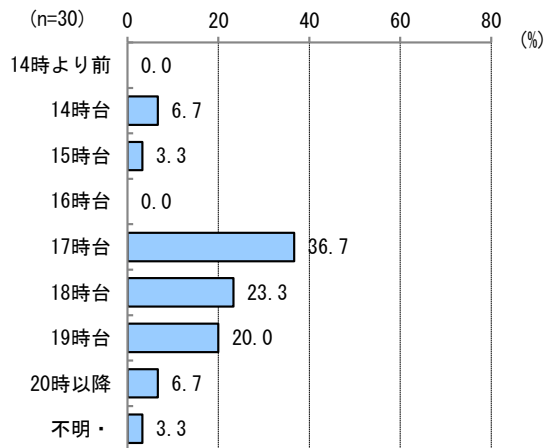
【図 5-4-1 留守家庭児童育成室の利用希望の時間帯（土曜日）】

### (1) 土曜日に利用したい時間帯

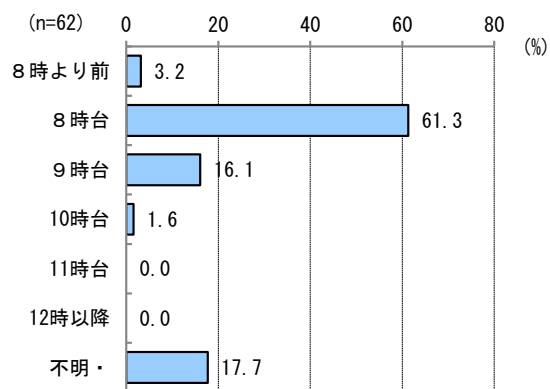
#### ■ 開始時間【毎週】



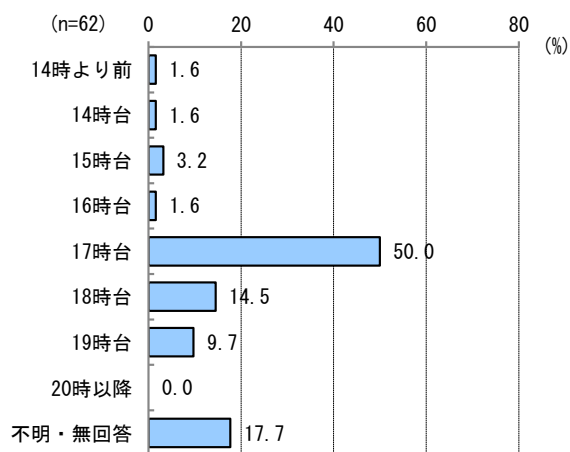
#### ■ 終了時間【毎週】



#### ■ 開始時間【月に1～2回】



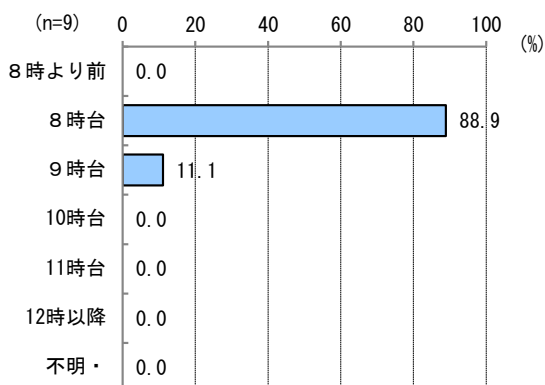
#### ■ 終了時間【月に1～2回】



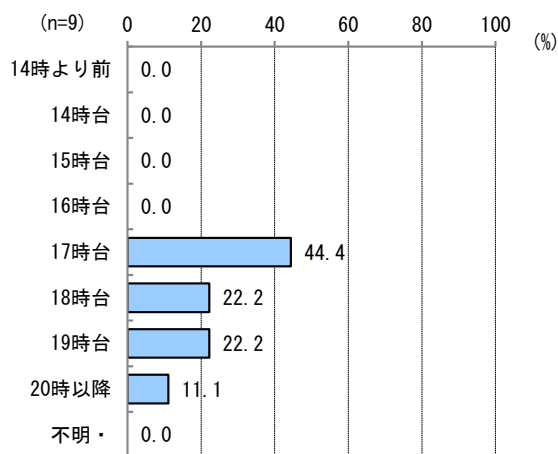
【図 5-4-2 留守家庭児童育成室の利用希望の時間帯（日曜日・祝日）】

(2) 日曜日・祝日に利用したい時間帯

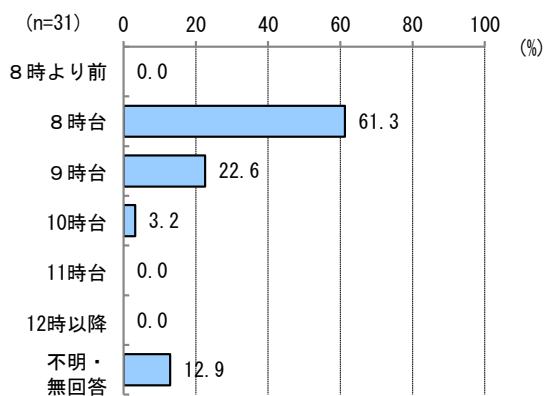
■ 開始時間【毎週】



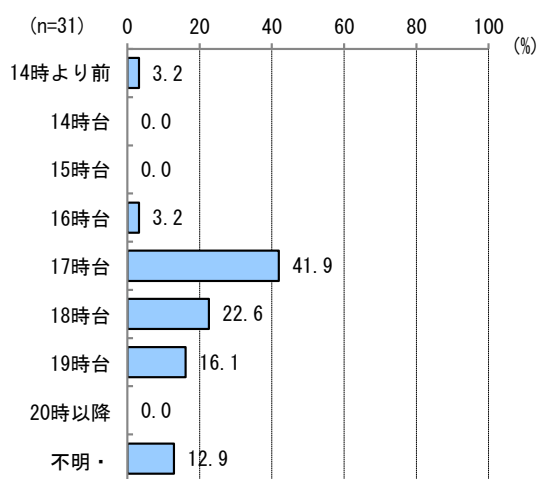
■ 終了時間【毎週】



■ 開始時間【月に1～2回】



■ 終了時間【月に1～2回】



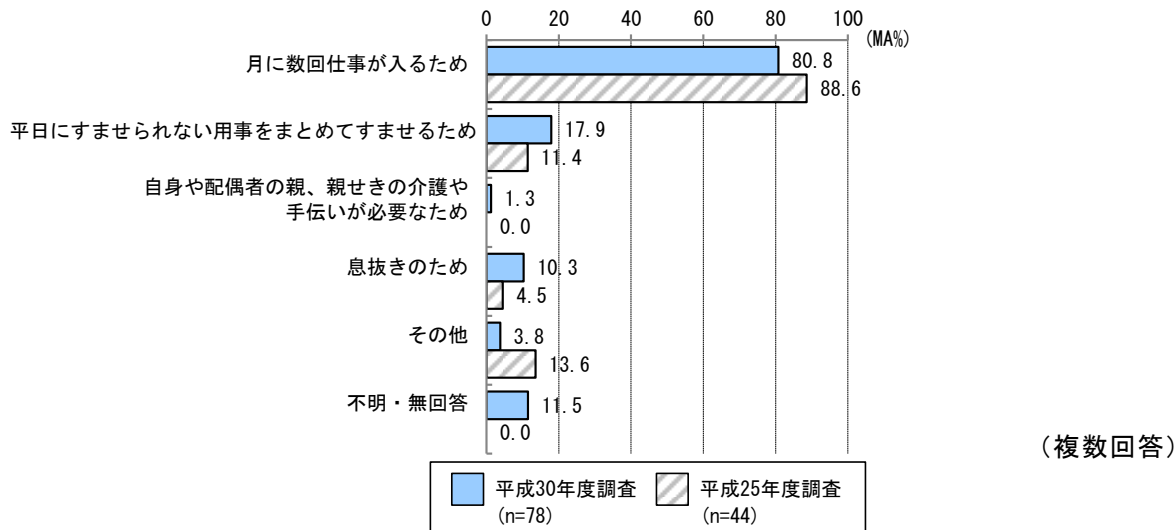
II. 調査結果

(5) 土曜日、日曜日・祝日に、留守家庭児童育成室をたまに利用したい理由

[就学児童…問16-3]

問 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。(すべてに○)

【図 5-5 土曜日、日曜日・祝日に留守家庭児童育成室をたまに利用したい理由】



留守家庭児童育成室の土曜日、日曜日・祝日の利用希望で「月1～2回は利用したい」と回答した人に、毎週ではなくたまに利用したい理由をたずねたところ、「月に数回仕事が入るため」(80.8%)が最も多く、次いで「平日にすませられない用事をまとめてすませるため」(17.9%)が続く。

平成25年度調査と比べると、「平日にすませられない用事をまとめてすませるため」が6.5ポイント、「息抜きのため」が5.8ポイント高くなっている。

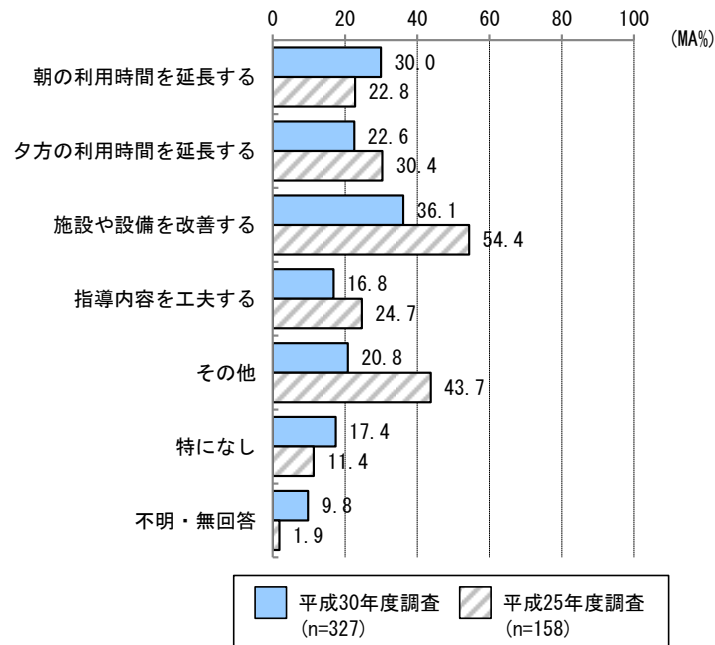


(6) 留守家庭児童育成室への要望

[就学児童…問16-4]

問 現在通っている留守家庭児童育成室にどのようなことを希望しますか。(すべてに○)

【図 5-6 留守家庭児童育成室への要望】



(複数回答)

現在通っている留守家庭児童育成室への要望について、「施設や設備を改善する」(36.1%)が最も多く、次いで「朝の利用時間を延長する」(30.0%)が続く。

平成25年度調査と比べると、「施設や設備を改善する」の割合が18.3ポイント低くなっている。また「朝の利用時間を延長する」の割合が7.2ポイント高くなっている。

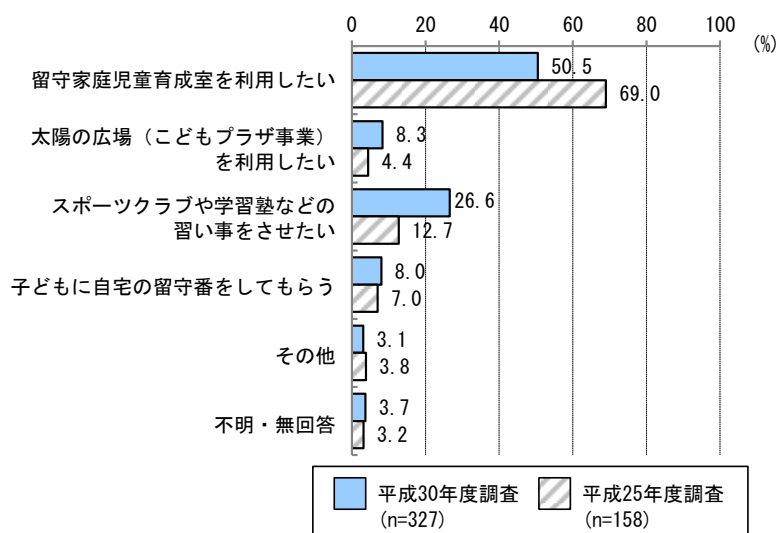
## II. 調査結果

### (7) 小学4年生以降の放課後の過ごし方

[就学児童…問16-5]

問 小学4年生以降の放課後の過ごし方について、どのようなことを望みますか。  
(1つに○)

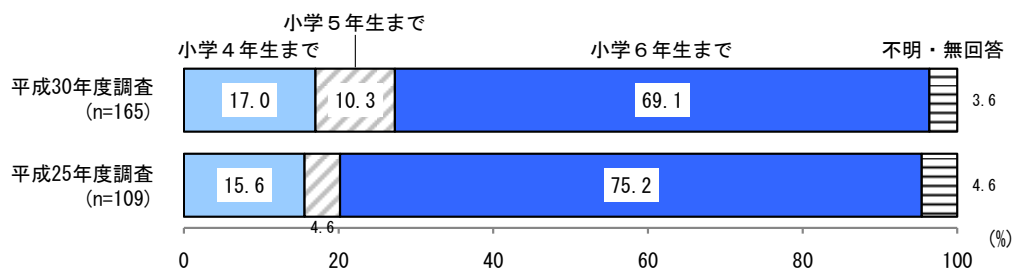
【図 5-7 小学4年生以降の放課後の過ごし方】



小学4年生以降の放課後の過ごし方について、「留守家庭児童育成室を利用したい」(50.5%)が最も多く、次いで「スポーツクラブや学習塾などの習い事をさせたい」(26.6%)が続く。

平成25年度調査と比べると、「スポーツクラブや学習塾などの習い事をさせたい」の割合が13.9ポイント高くなっている。

【図 5-7-1 留守家庭児童育成室を利用したい学年】



小学4年生以降の放課後の過ごし方で「留守家庭児童育成室を利用したい」と回答した人に、小学何年生まで利用したいかについてたずねたところ、「小学6年生まで」(69.1%)が最も多く、次いで「小学4年生まで」(17.0%)、「小学5年生まで」(10.3%)が続く。

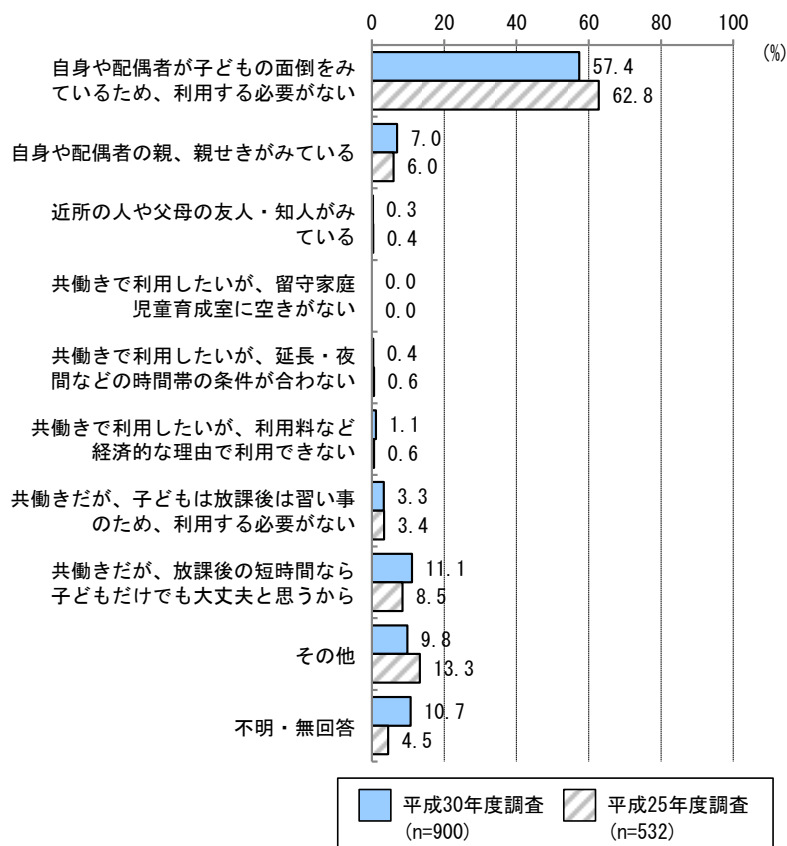
平成25年度調査と比べると、「小学5年生まで」の割合が5.7ポイント高くなっている。

(8) 留守家庭児童育成室を利用していない理由（現在は利用していない人）

[就学児童…問17]

問 留守家庭児童育成室を利用していない理由は何ですか。（1つに○）

【図 5-8 留守家庭児童育成室を利用していない理由】



留守家庭児童育成室を利用していない人に、その理由についてたずねたところ、「自身や配偶者が子どもの面倒をみているため、利用する必要がない」（57.4%）が最も多く、次いで「共働きだが、放課後の短時間なら子どもだけでも大丈夫と思うから」（11.1%）が続く。

平成25年度調査と比べると、「自身や配偶者が子どもの面倒をみているため、利用する必要がない」の割合が5.4ポイント低くなっている。

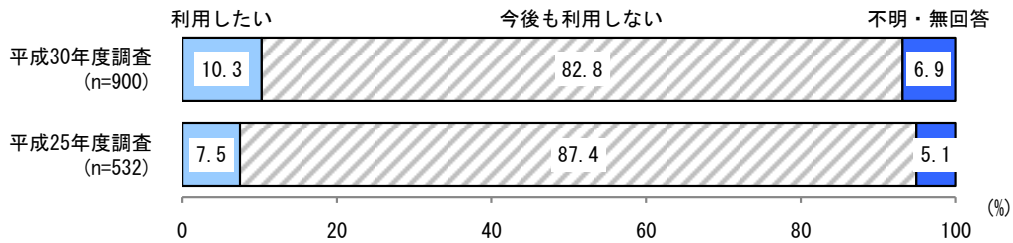
II. 調査結果

(9) 今後の留守家庭児童育成室の利用意向（現在は利用していない人）

[就学児童…問17-1]

問 今後、父母とも働く予定があるなどの理由で、留守家庭児童育成室を利用したいとお考えですか。（1つに○）希望がある場合は、日数・時間もお答えください。

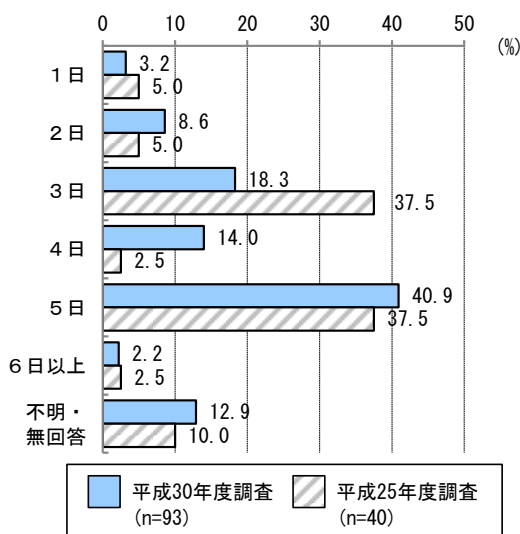
【図 5-9 今後の留守家庭児童育成室の利用意向】



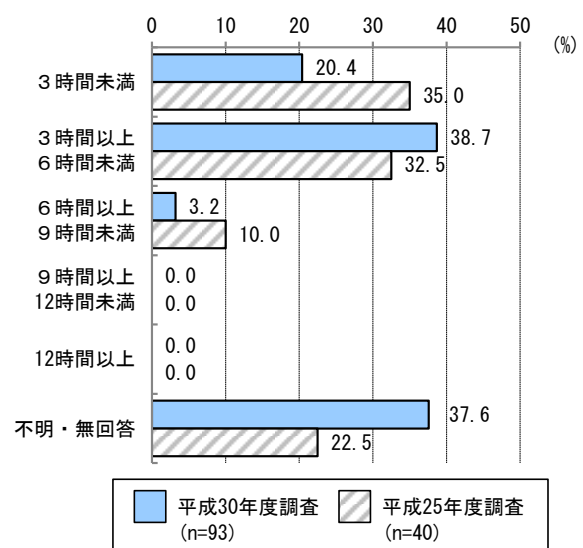
今後の留守家庭児童育成室の利用意向について、「利用したい」が10.3%、「今後も利用しない」が82.8%となっている。

【図 5-9-1 利用したいと回答した人の利用希望日数・時間】

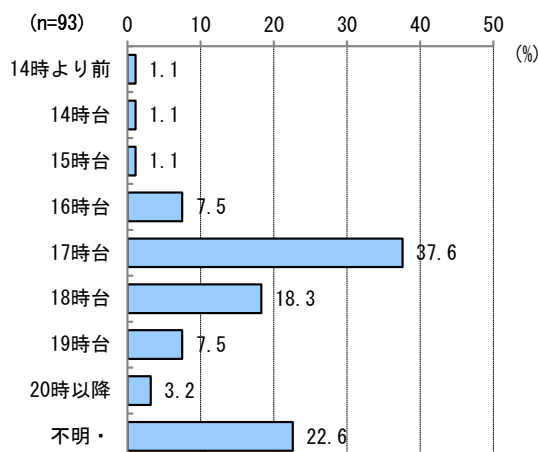
■ 1週あたりの希望日数



■ 1日あたり利用希望時間数

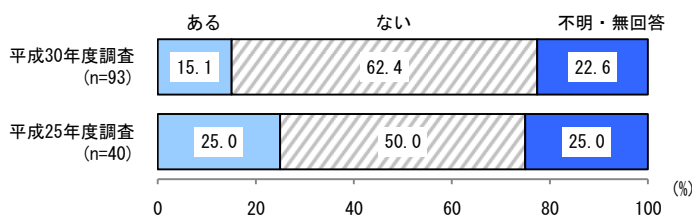


■ 希望終了時間

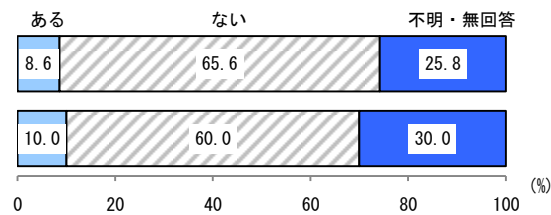


【図 5-9-2 利用希望者の土曜日、日曜日・祝日の利用意向、希望時間】

■土曜日の利用希望の有無



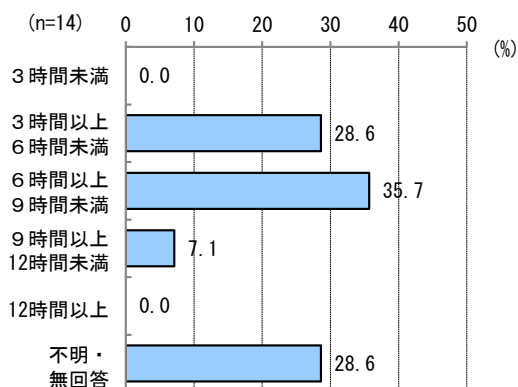
■日曜日・祝日の利用希望の有無



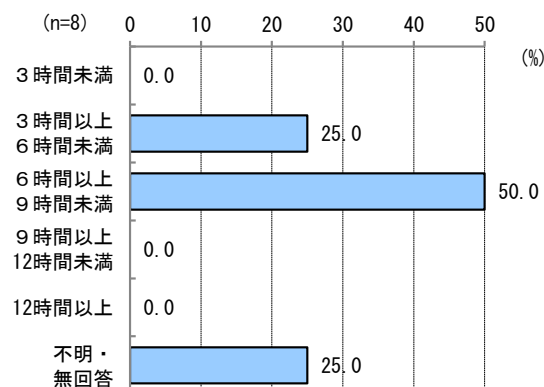
利用したいと回答した人の、土曜日、日曜日・祝日の利用希望について、利用希望が「ある」は土曜日が15.1%、日曜日・祝日が8.6%、「ない」は土曜日が62.4%、日曜日・祝日が65.6%となっている。

平成25年度調査と比べると、土曜日も日曜日・祝日も、利用希望が「ある」割合が低くなっている。

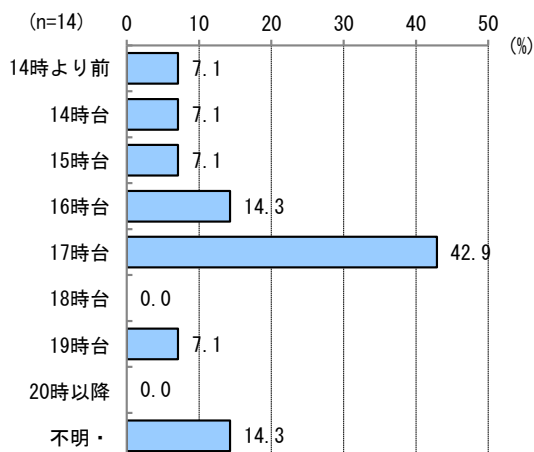
■土曜日の1日あたり利用希望時間



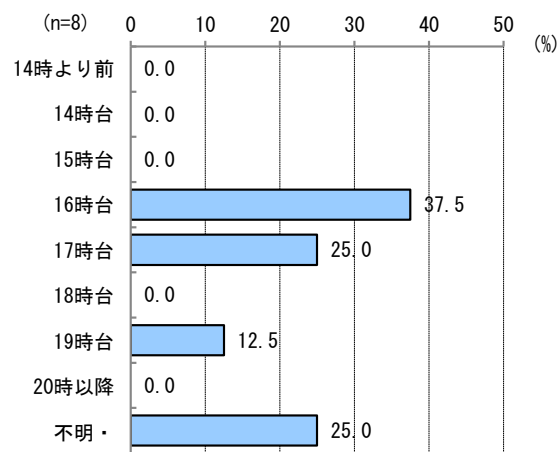
■日曜日・祝日の1日あたり利用希望時間



■土曜日の利用終了希望時間



■日曜日・祝日の利用終了希望時間



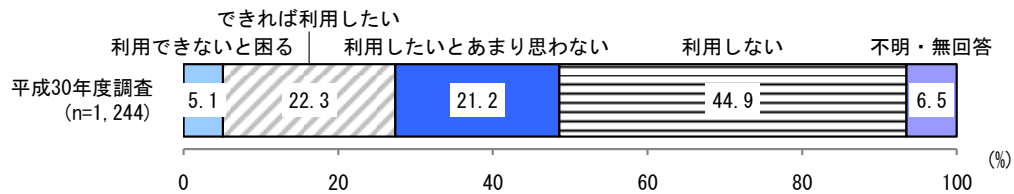
## II. 調査結果

### (10) 小学6年生までの留守家庭児童育成室の利用意向

[就学児童…問18]

問 現在、留守家庭児童育成室の利用は4年生までを対象としていますが、もしも6年生まで利用できるとしたら、利用したいですか。(1つに○)

【図 5-10 小学6年生までの留守家庭児童育成室の利用意向】



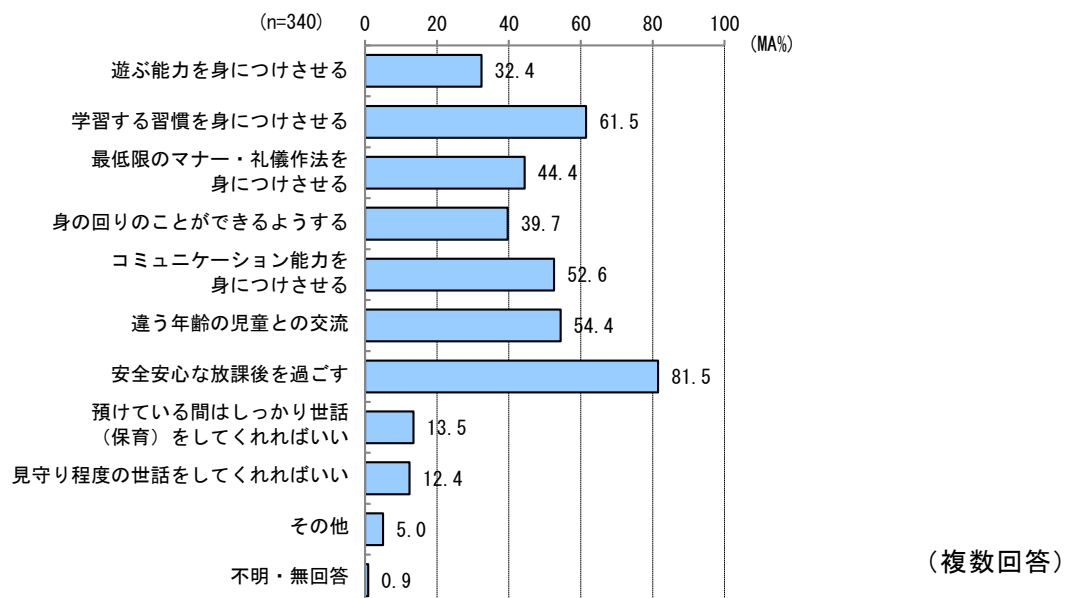
留守家庭児童育成室が小学6年生まで利用できたときの利用意向について、「利用しない」(44.9%)が最も多い。「利用したいとあまり思わない」は21.2%で、利用意向がない人は6割台となっている。また、「できれば利用したい」は22.3%、「利用できないと困る」は5.1%となっている。

### (11) 小学6年生まで留守家庭児童育成室を利用できた場合に期待すること

[就学児童…問18-1]

問 6年生まで利用できるとしたら、留守家庭児童育成室にどのようなことを期待しますか。(すべてに○)

【図 5-11 小学6年生まで利用できた場合に留守家庭児童育成室に期待すること】



小学6年生まで利用できたときに利用意向がある人に、留守家庭児童育成室に期待することについてたずねたところ、「安全安心な放課後を過ごす」(81.5%)が最も多く、次いで「学習する習慣を身につけさせる」(61.5%)、「違う年齢の児童との交流」(54.4%)が続く。

## 6 子どもが病気になった時の対応

### 【平日に施設やサービスを利用している就学前児童及び就学児童】

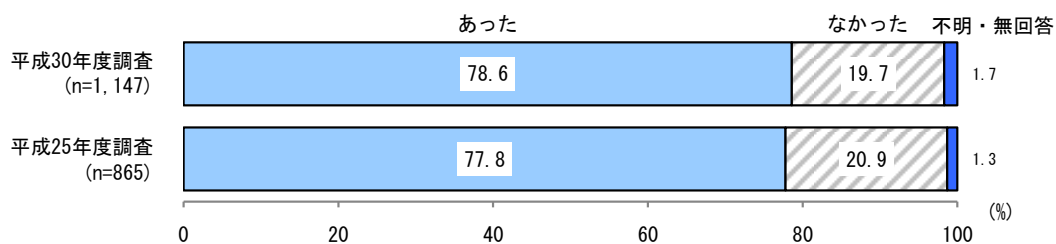
#### (1) 子どもが病気やけがで施設やサービス、小学校を休んだ経験

[就学前児童…問18、就学児童…問19]

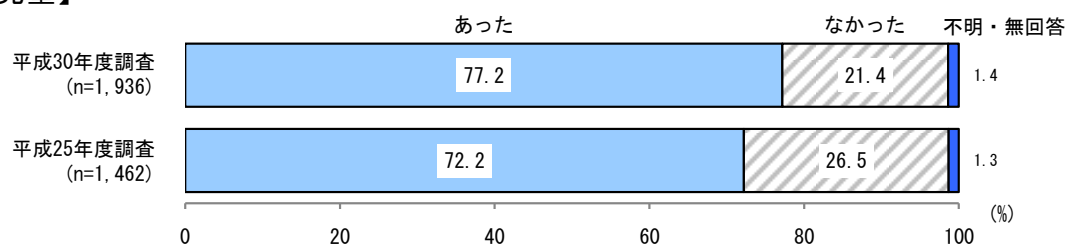
問 この1年間に、お子さんが病気やけがで、保育園や幼稚園、認定こども園など施設やサービスを利用できなかった、または小学校を休んだことはありますか。(1つに○)

【図 6-1 子どもが病気やけがで幼稚園や保育園、小学校を休んだ経験の有無】

#### 【就学前児童】



#### 【就学児童】



子どもが病気やけがで、保育園や幼稚園、認定こども園などの施設やサービスあるいは小学校を休んだ経験の有無について、「あった」は就学前児童が78.6%、就学児童が77.2%、「なかった」は就学前児童が19.7%、就学児童が21.4%となっている。

平成25年度調査と比べると、就学児童の「あった」の割合が5.0ポイント高くなっている。

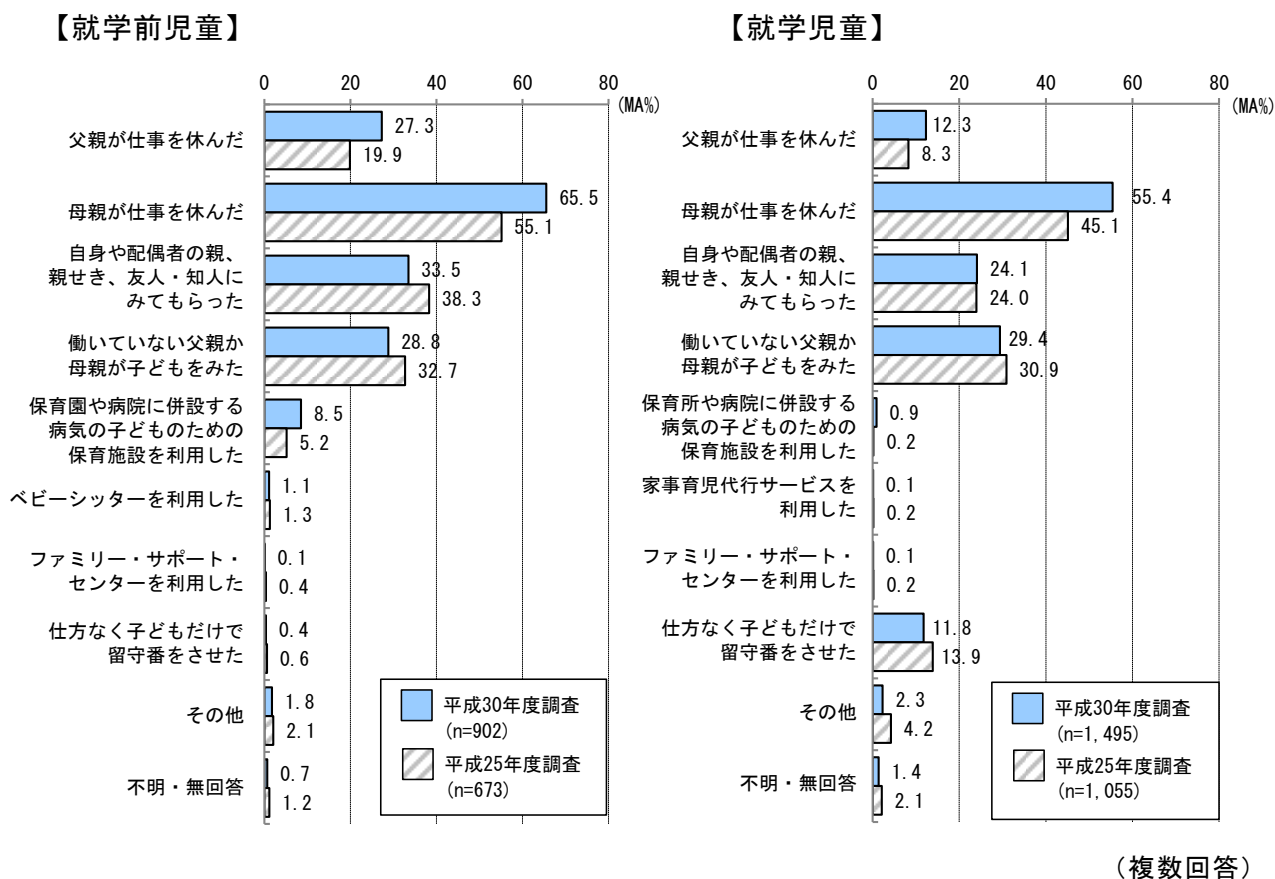
## II. 調査結果

### (2) 施設やサービス、小学校を休んだときの対処方法

[就学前児童…問18-1、就学児童…問19-1]

問 この1年間に、お子さんが病気やけがで、保育園や幼稚園、認定こども園など施設やサービスを利用できなかった、または小学校を休まなければならなかったときの対処方法とその日数をお答えください。半日程度についても1日としてカウントしてください。

【図 6-2 幼稚園や保育園、小学校を休んだときの対処方法】



保育園や幼稚園、認定こども園などの施設やサービスあるいは小学校を休んだときの対処方法について、「母親が仕事を休んだ」が最も多い(就学前児童:65.5%、就学児童:55.4%)。次いで就学前児童では「自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった」(33.5%)、「働いていない父親か母親が子どもをみた」(28.8%)が続く、就学児童では「働いていない父親か母親が子どもをみた」(29.4%)、「自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった」(24.1%)が続く。

平成25年度調査と比べると、就学前児童、就学児童とも「母親が仕事を休んだ」、「父親が仕事を休んだ」の割合が高くなっている。



【表 6-2-1 保育園や幼稚園、小学校を休んだときの対処方法別日数】

【就学前児童】

	(%)						
	1 ~ 2 日	3 ~ 5 日	6 ~ 1 0 日	1 1 ~ 5 2 0 日	2 1 ~ 5 3 0 日	3 1 日 以 上	不 明 ・ 無 回 答
①父親が仕事を休んだ (n=246)	48.0	36.2	10.2	1.6	0.0	0.0	4.1
②母親が仕事を休んだ (n=591)	17.3	30.3	26.7	15.1	2.9	1.0	6.8
③自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった (n=302)	25.2	37.4	22.5	6.3	1.7	0.3	6.6
④働いていない父親か母親が子どもをみた (n=260)	14.2	33.1	24.2	12.3	3.1	0.8	12.3
⑤保育所や病院に併設する病気の子どものための保育施設を利用した (n=77)	35.1	32.5	19.5	7.8	1.3	0.0	3.9
⑥ベビーシッターを利用した (n=10)	30.0	40.0	30.0	0.0	0.0	0.0	0.0
⑦ファミリー・サポート・センターを 利用した (n=1)	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
⑧仕方なく子どもだけで留守番をさせた (n=4)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
⑨その他 (n=16)	12.5	37.5	6.3	12.5	0.0	0.0	31.3

保育園や幼稚園などを休んだときの対処方法別日数について、『①父親が仕事を休んだ』は、「1～2日」(48.0%)が最も多く、次いで「3～5日」(36.2%)、「6～10日」(10.2%)が続く。『②母親が仕事を休んだ』は、「3～5日」(30.3%)が最も多く、次いで「6～10日」(26.7%)、「1～2日」(17.3%)が続く。『③自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった』は、「3～5日」(37.4%)が最も多く、次いで「1～2日」(25.2%)、「6～10日」(22.5%)が続く。『④働いていない父親か母親が子どもをみた』は、「3～5日」(33.1%)が最も多く、次いで「6～10日」(24.2%)、「1～2日」(14.2%)が続く。

【就学児童】

	(%)						
	1 ~ 2 日	3 ~ 5 日	6 ~ 1 0 日	1 1 ~ 5 2 0 日	2 1 ~ 5 3 0 日	3 1 日 以 上	不 明 ・ 無 回 答
①父親が仕事を休んだ (n=184)	64.1	17.9	3.3	1.1	0.0	0.0	13.6
②母親が仕事を休んだ (n=828)	39.7	30.6	8.9	2.4	0.4	0.2	17.8
③自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった (n=360)	47.2	27.2	6.4	1.1	0.3	0.0	17.8
④働いていない父親か母親が子どもをみた (n=440)	29.8	30.9	13.4	2.7	0.2	0.2	22.7
⑤保育所や病院に併設する病気の子どものための保育施設を利用した (n=14)	64.3	14.3	21.4	0.0	0.0	0.0	0.0
⑥家事育児代行サービスを利用した (n=2)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
⑦ファミリー・サポート・センターを利用した (n=2)	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
⑧仕方なく子どもだけで留守番をさせた (n=177)	56.5	19.8	3.4	1.1	0.0	0.6	18.6
⑨その他 (n=35)	45.7	2.9	8.6	2.9	0.0	2.9	37.1

## II. 調査結果

小学校を休んだときの対処方法別日数について、『①父親が仕事を休んだ』は、「1～2日」(64.1%)が最も多く、次いで「3～5日」(17.9%)が続く。『②母親が仕事を休んだ』は、「1～2日」(39.7%)が最も多く、次いで「3～5日」(30.6%)、「6～10日」(8.9%)が続く。『③自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった』は、「1～2日」(47.2%)が最も多く、次いで「3～5日」(27.2%)、「6～10日」(6.4%)が続く。『④働いていない父親か母親が子どもをみた』は、「3～5日」(30.9%)が最も多く、次いで「1～2日」(29.8%)、「6～10日」(13.4%)が続く。

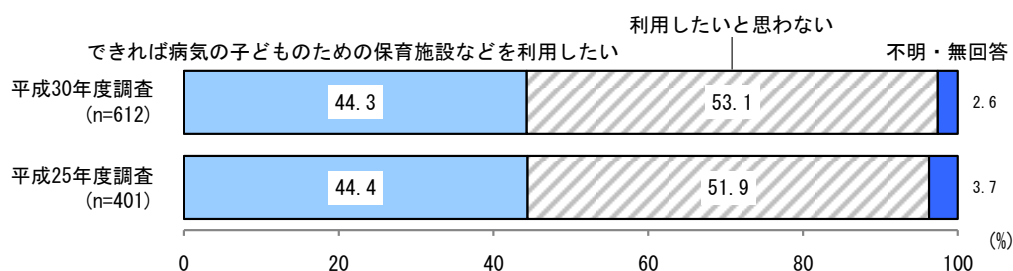
### (3) 病気の子どものための保育施設などの利用意向(仕事を休んだと回答した人)

[就学前児童…問18-2、就学児童…問19-2]

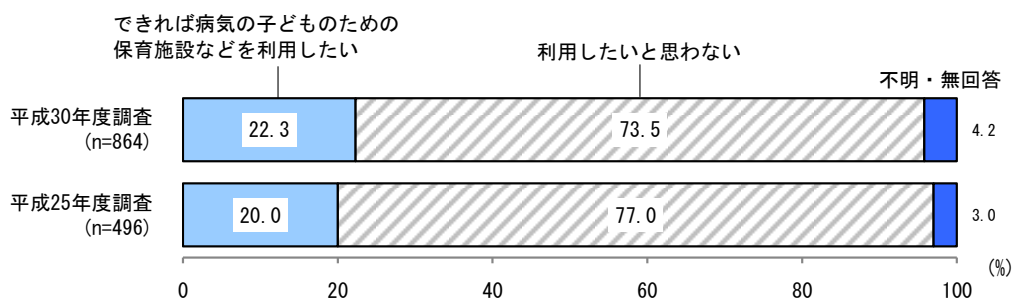
問 そのときに「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」と思われましたか。希望がある方は日数もお答えください。

【図 6-3 病気の子どものための保育施設などの利用意向】

#### 【就学前児童】



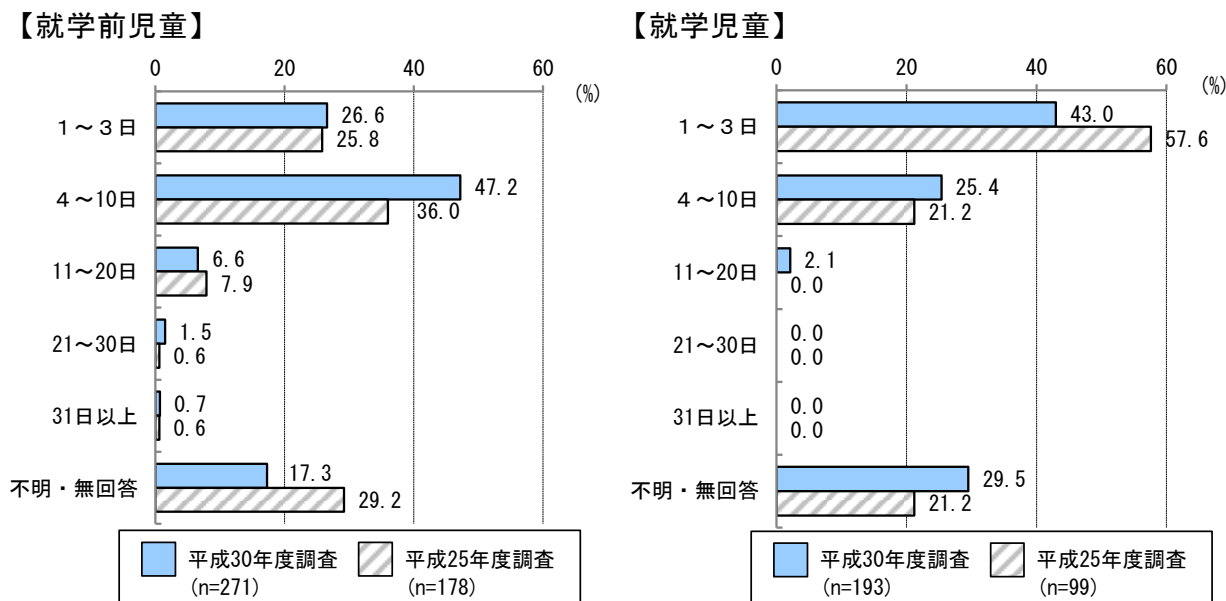
#### 【就学児童】



子どもが保育園や幼稚園など、または小学校を休んだときの対処方法で、父親または母親が仕事を休んだと回答した人に、できれば病気の子どものための保育施設などを利用したいかについてたずねたところ、「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」は就学前児童が44.3%、就学児童は22.3%となっている。「利用したいと思わない」は就学前児童が53.1%、就学児童が73.5%となっている。

平成25年度調査と比べても、その傾向は変わらない。

【図 6-3-1 病気の子どものための保育施設などを利用したいと回答した人の利用希望日数】

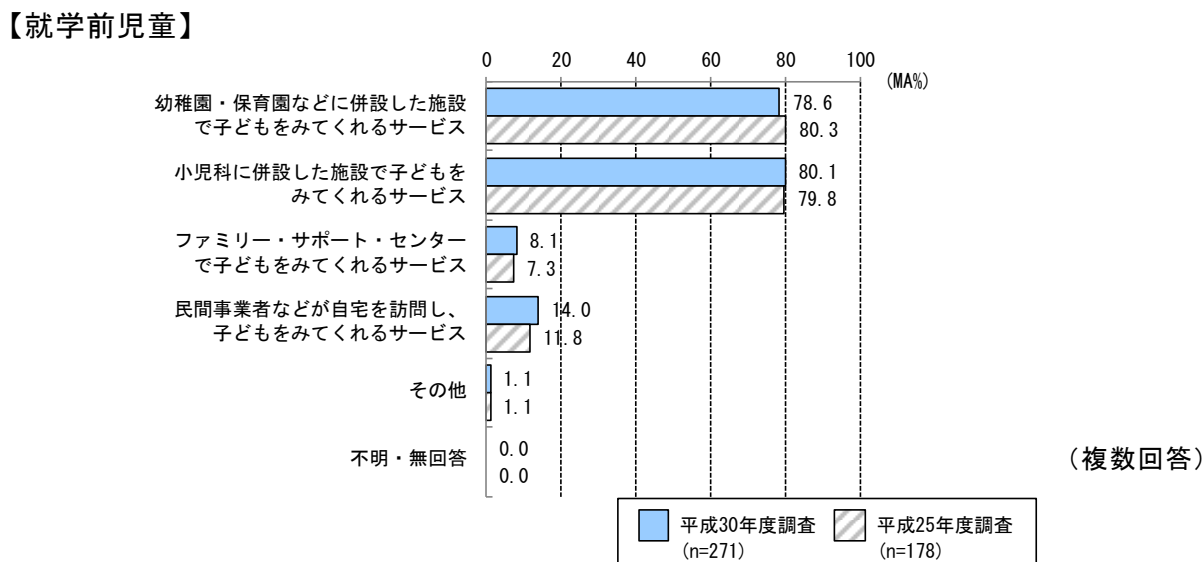


#### (4) 病気の子どものために望むサービス【就学前児童】

[就学前児童…問18-3]

問 利用する場合、下記のいずれのサービスが望ましいと思われますか。(すべてに○)

【図 6-4 病気の子どものために望むサービス】



できれば病気の子どものための保育施設などを利用したいと回答した人に、利用する場合の望ましいサービスをたずねたところ、「小児科に併設した施設で子どもをみてるサービス」(80.1%)が最も多く、次いで「幼稚園・保育園などに併設した施設で子どもをみてるサービス」(78.6%)が続く。

平成25年度調査と比べても、その傾向は変わらない。

II. 調査結果

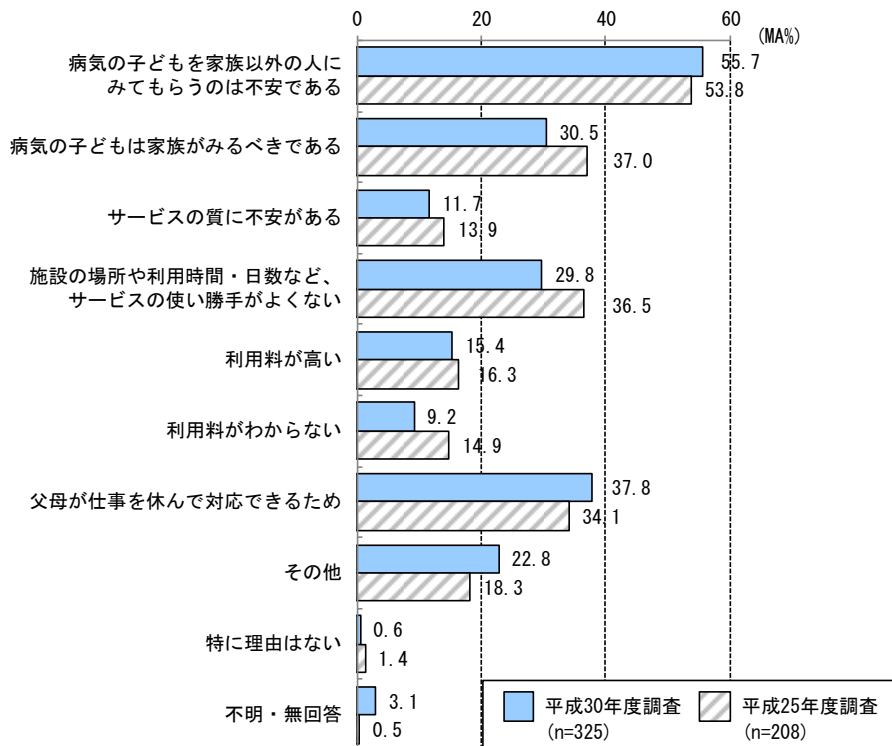
(5) 病気の子どものための施設を利用したいとは思わない理由【就学前児童】

[就学前児童…問18-4]

問 できれば病気の子どものための保育施設などを利用したいとは思わない理由は何ですか。(すべてに○)

【図 6-5 病気の子どものための保育施設を利用したいと思わない理由】

【就学前児童】



(複数回答)

できれば病気の子どものための保育施設などを利用したいと思わないと回答した人に、その理由をたずねたところ、「病気の子どもを家族以外の人にみてもらうのは不安である」(55.7%)が最も多く、次いで「父母が仕事を休んで対応できるため」(37.8%)、「病気の子どもは家族がみるべきである」(30.5%)が続く。

平成25年度調査と比べると、「病気の子どもは家族がみるべきである」の割合が6.5ポイント、「施設の場所や利用時間・日数など、サービスの使い勝手がよくない」の割合が6.7ポイント低くなっている。